

札
幌
の
観
光

平
成
十
六
年
度
版

平成16年度版
TOURISM OF SAPPORO

札幌の観光

Welcome to Sapporo

ようこそ
きらめく四季の
札幌へ

札
幌
市

札幌市

目次

第1章	札幌市の観光への取り組み	
1	札幌新まちづくり計画	1
2	平成16年度観光文化局機構・職員数	6
3	平成16年度観光コンベンション部の事業概要... 7	
4	トピックス	16
第2章	観光客の入り込み状況	
1	平成15年度の動向	17
2	観光客の入り込み状況	18
3	交通機関別入り込み状況	20
4	日帰り・宿泊客別入り込み状況	21
5	道内客・道外客別入り込み状況	22
第3章	宿泊施設	
1	宿泊調査の概要	23
2	宿泊施設の状況	24
3	宿泊施設利用状況	25
4	外国人の宿泊状況	28
5	修学旅行生の宿泊状況	32
第4章	イベントとコンベンション	
1	札幌でのイベント開催状況	34
2	札幌でのコンベンション開催状況	42
第5章	参考資料	
1	観光施設等利用状況	44
2	定期観光バス利用者数	46
3	札幌発着航空路線	47
4	気象概況	48
5	札幌観光のあゆみ	49
6	平成16年度のイベントカレンダー	51

第1章 札幌市の観光への取り組み

1 札幌新まちづくり計画

「札幌新まちづくり計画」は、平成16年度から18年度までを計画期間とした札幌市のまちづくりのプランです。この計画は、市民と市が共有する理念や指針をもとに、取り組みを進めていくため、まちづくりの理念や指針を表す「ビジョン編（平成16年5月公表）」と、ビジョン編に基づいて市が重点的に実施する事業を計画化する「重点事業編」（同年秋頃公表予定）の2編構成となっています。

この計画では、「協働による観光振興とコンベンション事業の推進」が17の重点戦略課題の一つに設定されていますが、市民にとってのより身近な将来像を「市民生活の姿」として描くとともに、都市の構成員が協働してまちづくりを進めるうえで、各主体に期待される主な役割についても示しています。また、行政が担う役割を踏まえて、札幌市が計画期間内に重点的に取り組む事柄を「施策の基本方針」として掲げ、その具体的な内容を「施策」として記述しています。

「ビジョン編」の具体的な内容は以下のとおりです。

重点戦略課題 協働による観光振興とコンベンション事業の推進 市民生活の姿

四季が織りなすゆたかな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め、まちが人々を引きつけ、迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに、国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で、活気があり新たな市民文化をはぐくむまちになっています。

現状と課題

観光客の入り込み状況

札幌を訪れる観光客は、昭和61年度から平成3年度まで急速な伸びをみせた後、バブル経済崩壊の影響もありいったんは低下しました。その後は持ち直したものの、近年は、1,300万人程度で推移しています。

また、海外からの来客は、延べ宿泊者数で見ると、平成5年度は90,205人で、その10年後の平成14年度は232,072人と2.6倍に増加しましたが、都道府県別の海外来客の訪問率をみると、平成14年度で9.1%（7位）となっています。

観光やビジネスなどで、より多くの方々が札幌を訪れることは、札幌の基幹産業ともいえるすそ野の広い集客交流産業^注に活況を生み、それが広い分野に波及し、雇用の機会が増えるなど地域の経済振興にとって有力な手段になります。さらに、市民と訪れた方との交流が盛んになることで、新たな文化の創出などさまざまな効果が期待できます。そこで、現状の来客数を飛躍的に高めていくことが、札幌にとって大きな課題となっています。

札幌への観光客の入り込み時期をみると、夏場や年末年始、雪まつり時期などに集中し、この期間のホテルの客室稼働率は高いが、これらの時期以外は、限られた来札者を奪い合う厳しい価格競争が展開され、利益を生み出しにくい状況にあります。

このため、年間を通じて安定した集客につなげていくことが、本市の集客交流産業全体にとって大きな課題になっています。

注 集客交流産業：来客への直接的なサービス提供（主なものは、飲食、買い物、レジャー、コンベンション、交通、宿泊）に関連する産業や来客への情報提供（主なものは、観光企画、情報メディア、印刷、通訳）に関連する産業を指す。

集客交流資源の活用・新たな発掘

札幌には、藻岩山などのゆたかな自然や新鮮な食材、定山溪温泉、四季折々の祭りやイベントに加え、札幌コンサートホール（キタラ）札幌ドーム、モエレ沼公園など数多くの集客交流資源があります。今後は、来客数を増加させるために、それらにふさわしい付加価値づくりや観光ツアーコースの開発などにより、芸術・文化、スポーツなどのハード・ソフトの資産を積極的に活用し、市民と来客が共に楽しめる新たな魅力を発掘する必要があります。

ホスピタリティ^注の充実

札幌への来客数を増やしていくためには、まず市民一人ひとりの温かいおもてなしの心と交流に寄せる熱意をはぐくむとともに、各企業がそれぞれの立場で、また、いろいろな機会を通じて、外国人をはじめとする旅行者を温かく迎える環境を整えていく必要があります。

国内外の観光先進地と比べ、旅行者に対する歓迎メッセージや、外国語標記が少ないこと、旅行者のニーズに対応した観光情報の提供などが必ずしも十分でないことから、市民、関係業界、行政が一体となってホスピタリティの一層の充実を図っていく必要があります。

注 ホスピタリティ：来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたいかなるようさせる心のもったおもてなし

コンベンション^注誘致・支援の強化

集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争が激しくなる中で、平成15年6月に、札幌コンベンションセンターがオープンしました。今後より一層、経済効果の高い大規模コンベンション、都市の知名度アップにつながる国際コンベンション、参加者と市民の交流が図られる社会的効果の高いコンベンションの誘致を推進する必要があります。

注 コンベンション：大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼びこむしくみ

札幌での主な大規模コンベンション(実績)

年	開催月日	名 称	参加国・人数
H12	11.6 11.11	第55回国際青年会議所世界会議札幌大会	102地域8,000人(海外1,500人)
H14	6.1 6.7	2002ワールドカップサッカー大会	
	10.13 10.18	第6回DPK(障害者インターナショナル)世界会議	110カ国3,113人(海外844人)

H15	6.30 7.11	国際測地学・地球物理学連合総会（IUGG）	77カ国4,645人（海外2,158人）
	10.31 11.7	アジア野球選手権（兼アテネ五輪予選）	7カ国・地域250人

道内各市町村との連携

札幌は、北海道の交通網の要衝となっていることから、観光やコンベンションの拠点機能の一層の強化を図る必要があります。また、道内の魅力的な観光地との連携や協力を一層進め、誘致宣伝活動の共同化や情報のネットワーク化、周遊ルートの開発を進めることにより、北海道観光の魅力を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長を促す必要があります。

各主体の主な役割

市民・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光商品の開発、誘致宣伝活動 ・観光客などへのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など
大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業、行政との共同調査・研究 など
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、NPO、企業、関係団体などとの連携促進や支援 ・国・北海道・他市町村との連携促進による施策展開 など

施策の基本方針

世界の集客交流都市さっぽろの実現に向けて、札幌の基幹産業の一つである観光やコンベンションの一層の振興に努めていきます。

道内各市町村との連携や市民・企業との協働により、まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進めるとともに、芸術や地域文化などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用しながら、札幌独自の魅力づくり、情報発信を進め、将来目標として来客2,000万人を目指します。

施策

集客交流都市としての魅力の発信

年間を通じて繰り広げられる祭りやイベントなどさまざまなエンターテインメントが楽しめる都市と鮮やかな四季の変化やゆたかで美しい自然とを融合させた札幌独自の魅力づくりを進め、集客交流資源として積極的に活用していきます。

このような札幌独自の魅力を生活文化も含めて国内外に情報発信するシティPRを

積極的に展開します。

また、映画などのロケーション誘致を推進する「フィルムコミッション事業」を展開するなど多角的に本市のイメージアップを図ります。

ホスピタリティ向上の推進

このまちが好きだからこそ温かく迎えたい。そんな心温まる「おもてなし」の気持ちを、札幌の新たな集客交流資源として活用します。そのために、さまざまな機会をとらえ、まちぐるみで観光案内機能や外国語標記の充実、市民、企業へのPRや研修の実施など、ホスピタリティの向上への取り組みを推進します。

コンベンション誘致・支援の推進

札幌コンベンションセンターを中心にホテルなど他のコンベンション施設との連携を強化し、札幌ならではの利便性とサービスの向上、さらにはアフターコンベンション^注の充実に努めます。また、行政や民間を問わずオール札幌としての機動的な誘致活動やさまざまな支援体制を整備し、経済効果の高い大規模なコンベンションや国際コンベンション、社会的効果の高いコンベンション誘致を推進します。

注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など

住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進

集客交流資源の発掘・活用を図るため、都心の整備や美しい都市景観の形成、藻岩山、定山溪温泉などのゆたかな自然環境や市内各所に残る歴史的資産の保全・活用など地域の魅力づくりを目的とした主体的なまちづくり活動に対し、さまざまな側面からの支援を実施します。

また、情報の共有化や相互連携などを図りながら、住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりを推進していきます。

道内各市町村と連携した魅力の発掘・アピール

札幌は、北海道の交通網の拠点となっていることから、今後は、他の道内観光地域との連携や協力を一層進め、情報のネットワーク化など先導的な役割を担っていきます。また、札幌や北海道がもつさまざまな独自の魅力を国内外に強力にアピールし、来札意欲を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長につながる体験型・滞在型観光の振興に取り組めます。

成果指標	(現状値)	(目標値)
年間来客数	1,325万人 (H14)	1,500万人 (H18) (将来目標は2,000万人)
来客の満足度	84.5% (H14)	90.0% (H18)
ボランティア体験参加者数(延べ人数)	3,609人 (H14)	10,000人 (H18)
コンベンション誘致件数	608件 (H15)	1,000件 (H18)

「重点事業編」については、上記の「ビジョン編」をもとに、市が3年間で重点的に進める事業を計画化し、パブリックコメントの手続きを経て、平成16年秋頃に策定する予定です。

札幌新まちづくり計画の最新情報は、札幌市のホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/chosei/machi-plan/>) をご覧ください。

2 平成16年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			計画担当係長	1名
			観光資源担当係長	1名
		シティPR担当課長	コンベンション担当係長	2名
			誘致宣伝担当係長	2名
			受入推進担当係長	2名
		事業調整担当課長	事業係長	3名
			事業調整担当係長	1名
		定山溪地区担当課長		
		課長職（外務省派遣）		
		課長職（財札幌国際プラザ派遣）	ロケーションサービス担当係長	
		課長職（財札幌国際プラザ派遣）	係長職（財札幌国際プラザ派遣）	2名
			係長職（財札幌国際プラザ派遣）	
	係長職（財札幌国際プラザ派遣）			
1名	1名	7名	12名	17名
合計職員数 38名				

3 平成16年度観光コンベンション部の事業概要

来札観光客入り込み等の調査分析及び情報提供【計画担当】

札幌市への来札観光客の入り込み状況や宿泊施設の利用状況などを、札幌市の交通機関や宿泊施設に調査を依頼し、その回答を取りまとめて、本書「札幌の観光」やインターネットによって情報提供を行っています。

集客交流促進に関する企画、調査、研究【計画担当】

平成16年度は以下の調査を行っています。

(1) 来札客の満足度調査

来札客の満足度を視点に、観光都市としての札幌の受け入れ体制の現状と課題を把握するとともに、今後の集客交流促進施策の検討のために、来札客に対するアンケート調査を行っています。

(2) 集客交流入り込み標本調査

本市への来札観光客の入り込み状況は、札幌市に乗り入れのある交通機関の乗客数に観光客率、市内入り込み率といった係数を乗じて算出しています。

しかし、現行の係数は平成4年の調査をもとにして設定されているので、現在の観光客の行動などと整合しない状況が生まれていると考えられることから、新たな係数を算出し、よりの確なビジネス客も含めた来札客の入り込み状況を把握するための調査を行っています。

(3) 観光産業経済波及効果調査

北海道、(財)北海道市町村振興協会、(社)北海道観光連盟、北海道市長会、北海道町村会との連携により、北海道における観光による消費規模の実態を把握するとともに、観光消費がもたらす北海道経済への波及効果を分析する調査を、平成16年度～17年度の2カ年かけて行っています。

集客交流・シティPRキャンペーンの統括調整【計画担当】

平成15年度～17年度までの3年間で、集中的に市民・事業者に分かりやすく、インパクトのある新たな事業を「集客交流・シティPRキャンペーン」として実施しています。

本事業は、以下の3つのプロジェクトにより展開しています。

(1) おもてなしプロジェクト

まち全体での受入体制の充実などの新しい魅力や戦略の創出を行うプロジェクトです。

平成16年度については、以下の事業を行っています。

・市民おすすめコースのパンフレット作成

市民がお勧めする新しい札幌の観光コースを紹介するパンフレットを作成し、積極的にPRします。

・観光お困りコール事業

市内のタクシーや観光サインに、観光に関する問合せ電話番号を表記して対応します。

・市民啓発・ボランティア研修等

おもてなしマナー広告の継続、ボランティアのレベルアップ研修を行います。

(2) ビジュアルプロジェクト

札幌が持つ様々な魅力をビジュアル面で多角的に宣伝するプロジェクトです。平成16年度については、以下の事業を行っています。

- ・ポストカードの全戸配布

「広報さっぽろ」を活用して札幌の絵葉書を全戸に配布し、市民に活用していただき、来札客増につなげます。

- ・首都圏からの札幌ツアーバージョンアップ

首都圏の旅行代理店と協働して、新しい魅力を紹介するパンフレットを作成し、商品造成につなげます。

- ・首都圏での札幌観光意識調査

首都圏での効果的なPR手法を探るとともに、首都圏の市民の札幌観光に対するニーズ調査を行います。

(3) コンベンションプロジェクト

トップセールスにより積極的・効果的にコンベンションを誘致するプロジェクトです。

平成16年度については、以下の事業を行っています。

- ・インセンティブツアー誘致等

コンベンション機能や都市魅力をアピールしインセンティブツアーやコンベンションを誘致します。

集客交流アイデア会議及び集客交流戦略懇談会の開催【計画担当】

- ・集客交流市民アイデア会議

公募で選ばれた12人の市民と市が、より多くの人に札幌を訪れてもらうためのアイデアを出し合い、議論を深めています。今年度は、市民の視点で考える「観光コースづくり」を進めており、実際に市内を歩くなどして札幌ならではの魅力の発見に取り組んでいます。

- ・集客交流戦略懇談会

宿泊業、旅行業、運輸業、観光施設、広告業、報道機関など多彩な企業にお勤めの方が約30人集まり、意見交換を行っています。今後は、企業と市が連携してより効果的な事業を行っていくために、アイデアを具体化していく予定です。藻岩山や定山溪温泉の活用などについても検討します。

藻岩山観光魅力アップ構想推進事業【観光資源担当】

藻岩山は札幌を代表する、眺望、夜景のスポットとして、多くの観光客を集める集客交流資源です。しかしながら、ロープウェイ等が当初の整備から相当期間を経過したことなどから、藻岩山の持つ魅力が十分発揮されていない状況です。

本年度は、有識者や市民の懇談会や市民フォーラム等を通じて、「藻岩山の魅力を高めるためには何が必要か」といったテーマで市民とともに藻岩山観光の魅力作りの検討を行います。

定山溪観光客誘致関連事業費補助【観光資源担当】

定山溪地域においては、観光地活性化にむけた「まちづくり」の気運が高まっており、

観光協会や飲食店などの事業者に、地域住民を巻き込んだ取り組みとなっています（P.16トピックス参照）。

こういった、「地域自ら取り組むまちづくり」への計画作りや地域の新たな観光地活性化への取り組みについて支援し、魅力あふれる温泉観光地作りを目指します。

コンベンションの誘致・支援施策の調査・企画【コンベンション担当】

- ・ 大規模・国際的なコンベンション（例：先進国首脳会合、日本医学会総会、その他政府系国際会議など）の誘致にむけた関係者（道、経済団体、企業等）との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。
- ・ コンベンション開催資金貸付制度や誘致促進助成金制度の整備・運用や、観光施設割引クーポン付ガイドブックの提供、割引地下鉄1日乗車券「Aカード」の販売等を通じて、参加者のアフターコンベンションを促すなどコンベンション推進施策を実施しています。
- ・ 15年度には、市内で開催された国際会議等の開催に伴う経済波及効果の測定を実施しました（国際会議2件、国内会議2件）。
- ・ 戦略的なコンベンション誘致を行うため、コンベンションビューロー、札幌コンベンションセンター、東京事務所シティセールス担当との情報共有や連携を図っています。
- ・ 国レベルの誘致推進機関である独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）や日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）との事業連携を図っています。

財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローとの連絡調整【コンベンション担当】

「コンベンションビューロー」は、コンベンションを誘致するため、誘致段階（誘致プレゼンテーション資料の提供、招聘状の送付など）開催段階（コンベンション運営の手伝い、ボランティアの派遣）等の事業を主な活動として行う非営利の推進機関です。

- ・ コンベンションビューローへの補助金を交付するとともに、コンベンション誘致にかかる事業実施において、市長招聘状の発行、キーパーソン招聘時の表敬対応などの調整を行っています。

「札幌コンベンションセンター」の運営管理【コンベンション担当】

- ・ 財団法人札幌国際プラザに委託し、札幌コンベンションセンターの運営管理を行っています（稼働率、コンベンション開催状況等については、42ページを参照）。

「札幌産業流通会館（アクセスサッポロ）」を運営管理する財団法人札幌産業流通振興協会との連絡調整【コンベンション担当】

札幌国際見本市委員会との連絡調整【コンベンション担当】

- ・ 「2003札幌住環境フェア」（平成15年7月17日（木）～20日（日）海外4カ国からの14を含む合計75の企業・団体の出展、入場者数25,479名）を開催しました。
- ・ 16年度から、見本市委員会事務局を財団法人札幌産業流通振興協会に移管することとしました。

「さっぽろフィルムコミッション」との連絡調整【コンベンション担当】

- ・ さっぽろフィルムコミッションへ補助金を交付するとともに、ロケ実施時における道路、公園、公共施設使用における許可にかかる連絡調整を行っています（15年度ロケ対応件数106件）。

国内マーケットに対する観光誘致宣伝【誘致宣伝担当】

札幌への観光客の入り込みのうち、約45%は道外からの来客であり、消費行動などの経済効果も大きい道外からの観光客誘致に重点的に取り組んでいます。特に、約3000万人の人口を抱え、札幌への来客数の割合の多い首都圏にむけたPRを中心に、有望なマーケットに対して、誘致宣伝を行います。

（1）ターゲット別国内観光プロモーション事業

首都圏や関西圏において、札幌の観光の魅力を強くアピールし、観光客の誘致促進に結びつけるため、PRの対象別のニーズに対応し、また新たなニーズを創出すべく、きめ細かいPR展開を行います。

PRの対象	事業内容
一般市民	街頭啓発、広告展開等
マスコミ	セミナー・意見交換会等
観光事業関係者	セミナー・商談会、モニターツアー等

（2）全国観光と物産展における観光PR

札幌市が主催または後援する全国約100ヶ所以上の百貨店で開催される「北海道の観光と物産展」会場の中から観光PRを行うことが可能な場所で、ポスター掲出、パンフレット配布などを行い、観光PRを展開します。

（3）北海道日本ハムファイターズとのタイアップ来札誘致事業

今年札幌に本拠地を移した北海道日本ハムファイターズ。念願の「わがまちのプロ野球チーム」が誕生しました。札幌ドームでは52試合が組み込まれており、市内はもちろん、道内からも多くの観客が応援に駆けつけ、選手に大声援を送っています。

一方、前フランチャイズの東京ドームでも12試合が実施されることから多くのファンが来場することが見込まれます。東京ドームへの来場者の多くは北海道日本ハムファイターズのファンであり、札幌への関心が高いと考えられます。

そこで、こうしたファンに対し、札幌パンフレットの配布やアンケートキャンペーンなどを行い、来札意欲を高めます。

【実施日程】

- 4/16(金)17(土)18(日) VS 千葉ロッテマリーンズ
- 5/21(金)22(土)23(日) VS 大阪近鉄バファローズ
- 6/ 7(月) 8(火) 9(水) VS 福岡ダイエーホークス
- 7/23(金)24(土)25(日) VS オリックスブルーウェーブ

海外マーケットに対する観光誘致宣伝【誘致宣伝担当】

近年、海外からわが国への来客数は、増加する傾向にあります。現在、政府では「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に取り組み、海外からの来客を倍増させる取り組みを進めており、今後も急速に増加していく可能性を秘めています。

本市では、台湾や香港、韓国、中国など東アジアからの来客が特に多く、特に最近で

は、経済発展が著しく、日本への団体観光旅行ビザが平成12年に解禁された中国（現在、団体観光旅行ビザが解禁されているのは、北京市、上海市、広東省の3地域〔平成16年7月1日現在〕）からの来客が増加傾向にあります。また近年はスキーを主目的とするオーストラリア等のオセアニア地域からの来客も増加する傾向にあります。本市では、こうした海外からの観光客をさらに誘致するために、各種のPR事業を展開しています。

(1) 中国観光PRミッションの派遣

官民一体となったPRのためのミッションを中国に派遣し、現地エージェントやマスコミ向けにセミナーや懇談会を行い、PR展開を図っています。

平成16年度は、北京市に加え、今後団体観光旅行ビザが解禁されることが見込まれる遼寧省（瀋陽市、大連市）において、宣伝活動を行うとともに、他団体主催のミッションにも連携・参加し、札幌のPRを行っていく予定です。

【中国観光PRミッションの実績】

時期	事業名	派遣箇所
平成11年10月	文化交流事業、観光プロモーション	北京市
平成12年 5月	上海マスコミ情報交換会 日中文化観光交流使節団派遣 「ジャパン・デー」参加	上海市 北京市
平成13年 5月	中国観光セミナー開催	北京市、広州市
平成14年 5月	中国観光セミナー開催	北京市、広州市
平成15年10月	北京国際文化旅遊節参加 中国観光セミナー	北京市、広州市、上海市

(2) 中国マスコミ及び旅行企業関係者招聘事業

札幌の魅力を中国の方々に広く紹介するとともに、旅行商品の開発により、観光客誘致を目指すため、中国から、マスコミ及び旅行企業関係者などのキーパーソンを招聘し、取材や商談の支援を行います。

【これまでの招聘事業】

時期	事業名	人数
平成12年10-11月	北京・上海マスコミ関係者招聘	30名
平成13年5月	上海市青少年友好交流代表団招聘	81名
平成13年7-8月	北京マスコミ関係者招聘	10名
平成15年2月	中国（北京・広州）マスコミ関係者招聘	14名
平成16年3月	中国（北京・大連）マスコミ・旅行企業関係者招聘	14名

(3) ソウル・札幌の物産と観光フェア

平成14年度から毎年開催しているソウル・札幌の物産と観光フェアにおいて、観光PRを行い、札幌のイメージ発信を図ります。

(4) 国際旅行見本市への出展

東アジア地域で開催されている旅行見本市に出展し、札幌の魅力をPRするとともに、旅行商品の企画を促進するよう現地旅行関係企業との連携を深めます。

【平成16年度出展予定】

KOTFA（韓国国際観光展）・ソウル市

GITF (広州国際旅遊展) ・ 広州市

PRツールの制作、配布・貸出【誘致宣伝担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) ビデオ・DVD

本市では、現在、2種類のプロモーションビデオ (DVD) を制作しており、プロモーションの機会などに配布しているほか、国内外観光拠点 (国際観光振興機構海外事務所、東京事務所、北海道観光連盟) に常備し、誘致用に活用するとともに、観光情報提供窓口である「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

タイトル	言語	メディア	制作年度
Air Sapporo N43°	日本語	DVD	初版：平成12年度 改訂版：平成15年度
歓迎交響曲	日本語、英語、中国語 (簡体字、繁体字)、 ハングル	DVD、ビデオ	初版：平成13年度 改訂版：平成14年度 再改訂版：平成15年度

(2) 写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行うにあたって、必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

(3) ポスター

札幌のイメージを視覚的に発信してくために、ポスターを制作しています。現在は、「集客交流・シティPRキャンペーン」の一環として制作したポスター (P.16トピックス参照) について、札幌市が実施する観光PRキャンペーンなどの際に掲出するほか、旅行代理店などからの依頼に応じ、配布しています。

札幌市共同宣伝協議会の運営【誘致宣伝担当】

札幌市では、より効果的な観光PRを行うとともに受け入れ体制の充実を図るため、(社) 札幌観光協会及び(社) 定山溪観光協会と3団体で、札幌市共同宣伝協議会を設置し、キャンペーンなどの誘致事業に参加するとともに、宣伝に使用するノベルティグッズや広報宣伝物の制作を行っているほか、観光客の周遊性を高めるための印刷物などを制作しています。

観光案内所【受入推進担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。

常設の案内所の他、観光シーズンに合わせた期間設置の案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供箇所としての「i案内所 (国際観光振興会の指定による) 」があります。

【観光案内所一覧】

名称	所在地	定休日	営業時間	電話番号
カッコウの窓口 (i 指定)	中央区北1西2 市役所2階	土日祝、年末年始	8 : 45 ~ 17 : 15	011 - 211 - 3341

さっぽろ観光案内所 札幌国際プラザ 国際情報コーナー (i指定)	中央区北5西3 ステラプレイ ス・センター1 階	年中無休	9:00~ 20:00	011-209-5020
大通観光案内所	中央区大通西3 丁目	10月中旬~4 月下旬(春~秋 季営業)	10:00~ 17:00	
定山溪観光案内 所	南区定山溪温泉 東4丁目	年末年始	9:00~ 17:00	011-598-2012
さっぽろビジタ ーズ・センター 札幌国際プラザ i(i指定)	中央区北1西3 札幌MNビル1 階	年末年始	9:00~ 17:30	011-211-3678

16年度には、札幌国際プラザが従来のプラザiを拡充し「さっぽろビジターズ・センター」を設立。NPO法人北海道観光バージョンアップ協議会との協力により、中国語やハングルに対応するコールセンターを開設。また、札幌商工会議所・札幌TMO^注が、街の魅力の案内所として、カフェと案内機能を備えた「さっぽろ赤レンガカフェ」を開設しています(P.16トピックス参照)。

注 TMO:[Town Management Organization]の略。商店街等の様々な主体が参加するまちの運営を横断的・総合的に調整し、プロデュースする組織。

観光ボランティア【受入推進担当】

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所(4月29日~10月11日)や、さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や、観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるといことで観光客からも好評を得ています。

6月現在登録数は315名(男97名 女218名)、平均年齢は56.0歳であり、活動は交代制となっています。

ホームページ【受入推進担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトの運営は、市民・企業・大学(研究機関)・行政が集まり、運営・編集方針を考える運営委員会方式をとっており、データベースによる観光基本情報のほか、季節に合わせた取材記事を紹介し、毎月更新しています。日本語のほか、英語・中国語(簡体字・繁体字)・ハングル・ドイツ語版があります。

また着地旅行者向けには、携帯電話から気軽に情報収集ができる「さっぽろフットナビ!」を公開しています。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

さっぽろフットナビ! <http://fnv.jp>

観光案内版【受入推進担当】

本市では、魅力ある観光都市の形成の一環として、札幌を訪れる人々のための総合案内板8基、地区案内板151基、誘導・案内板26基を設置しています。

日本語のほか、英語・中国語(簡体字)・ハングルの4カ国語表記とし、外国人の来

客にも対応しており、ユニバーサルデザインやピクトグラム（絵文字標記）の採用により利便性に配慮しています。

16年度については、既存案内板のうち、設置年が古く情報が不足している丘珠空港内の総合案内板のリニューアルを行います。

観光ガイドブック【受入推進担当】

来札客の利便性を図るため、市内の地図や観光名所などを紹介した観光ガイドブック「さっぽろ観光ガイド」を発行。日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ドイツ語・ロシア語・ハンガルの6カ国分を制作しています。

16年度は、日本語版50万部を、(社)札幌観光協会が主体となり発行しました。

また、英語・中国語（簡体字・繁体字）の制作を予定しています。

観光貸切バス待機場【受入推進担当】

観光バスで来た観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車しなくて済むように、観光バス専用の待機場が2カ所あり、北海道バス協会が運営しています。

〔場所〕

中央区北1条西9丁目〔平成15年度利用台数 9,821台〕

東区北22条東1丁目〔平成15年度利用台数 3,390台〕

各種まつりの企画実施【事業係】

- ・ さっぽろライラックまつり（5月下旬）
ライラックの開花時期に大通り公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成16年で46回を迎えました。
- ・ さっぽろ夏まつり（7月中旬～8月中旬）
昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成16年で51回を迎えます。イベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りで、都市公園で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。
- ・ さっぽろ菊まつり（10月下旬～11月上旬）
昭和38年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成16年で42回を迎えます。さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場とし、毎年数百点の菊が出展されています。
- ・ さっぽろ雪まつり（2月上旬）
昭和25年に始まったこの祭りは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成17年で56回を迎えます。
会場は大通公園、真駒内、すすきのの3会場で、総数300基を超える雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

各種まつりの連絡調整【事業係】

- ・ YOSAKOIソーラン祭り（6月上旬）
平成4年に始まったこの祭りも平成16年で13回を迎え、来場者が200万人を超える札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

- ・ さっぽろホワイトイルミネーション（11月中旬～2月上旬）
昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。
平成16年で22回を迎えます。
会場は大通公園と駅前通りで、総数37万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。
- ・ ミュンヘン・クリスマス市（11月下旬～12月中旬）
平成14年ミュンヘン市との姉妹提携30周年を記念し開催されました。会場は大通西2丁目で、ミュンヘン市に因んだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

札幌国際ユースホステルの管理運営【庶務係】

低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

都心から2 km圏内、地下鉄東豊線学園前駅に隣接しており、観光の拠点として便利な都市型ユースホステルです。

また、付近には道立総合体育センター「きたえる」があり、スポーツ団体等の合宿にも適しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	(011) 825 - 3120
開設年月	平成12年4月
構造 / 延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建 / 1,967.64㎡
定員 / 利用期間	120人 / 通年
管理運営	(財)北海道ユースホステル協会に委託
宿泊料金等	宿泊3,800円(中学生以下3,300円、4歳未満無料) 〳 冷暖房料、シーツ料、税込) 食事(朝食850円)
敷地面積	918.93㎡
(URL)	http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/

4 トピックス

まちの魅力の案内所「さっぽろ赤レンガカフェ」オープン

平成16年6月4日、さっぽろ赤レンガカフェがオープンしました。

この施設は、都心を訪れる市民や観光客の皆さんに、街の魅力を案内する新しいスタイルのカフェとして、札幌商工会議所・札幌TMOが主体となって設置したものです。

一息くつろぐことができるカフェスペースのほか、札幌や北海道の良質な地場産品を展示、販売しており、さらに、ボランティアが道案内や施設、イベントなどの紹介を行っています。

所在地 中央区北2条西4丁目2番地 札幌三井ビル別館1F TEL 271 - 8155

営業時間 午前9時～午後6時

地域が挑む観光地活性化 - 定山溪まちづくり委員会

温泉街に「賑わい」を取り戻そうと、平成15年10月に「定山溪まちづくり委員会」を設置し、活性化についての検討を行っています。

「まちづくり委員会」は(社)定山溪観光協会を中心に、旅館組合、飲食店組合、調理師会の代表者、町内会の代表者や公募市民を加えた構成になっており、まちを挙げての取組になっています。

基本的なまちのコンセプト「訪れて楽しい、暮らして楽しい」を実現するために、15年度と16年度で、ビジョンとアクションプログラムをまとめ、17年度以降に具体的な事業を展開していくこととしております。昨年度は、来訪者や住民にアンケート調査を行うとともに、地域のゾーニングと各スポットの将来ビジョンの整理、アクションプログラムのフレームなどの検討を行いました。本年度は実現可能なアクションプログラムの策定に取り組むことになっています。

新しい観光ポスターを制作

平成16年3月、札幌の新しい観光ポスターを制作しました。

2枚1組で、1枚は南区の石山緑地、もう1枚は手稲区の前田森林公園と東区のモエレ沼公園を組み合わせたものです。

キャッチコピーは『その国は札幌です。』従来の札幌のイメージとは違う風景を使い、道行く人が「この場所はどこにあるのだろう？」と、思わず足を止めてしまうような、感性に訴えるものを作りました。

なお、このポスターは、平成16年度全北海道広告協会賞〔ポスター部門〕の優秀賞に選出されました。



第2章 観光客の入り込み状況

1 平成15年度の動向

(1) 観光客の入り込み状況

平成15年度に札幌を訪れた観光客は、前年度の1,325万1千人に対し、1,368万3千人と、対前年度比で3.3%（43万2千人）増加しました。

平成15年度の上期（4月～9月）は、すべての月で対前年度より大きく増加したため、下期（10月～3月）に、全ての月で対前年度を割り込んだにも関わらず、年間トータルでは、これまで最高の平成11年度の1,330万4千人を上回り、昭和42年度の調査開始以来最高を記録しました。

(2) 増減の要因

増加の要因として、貸し切りバスでの入り込みが大きく増加し、団体旅行客が増加したことが挙げられます。

道内客、日帰り客が増加した原因は、札幌駅南口にJRタワーがオープンしたことによるものと思われます。

下期の落ち込み原因は、暖冬の影響によるスキーツアー客の減少のためと思われます。

(3) 入り込み状況の詳細

道内客・道外客別入り込み状況

道内客が54.6%、道外客が45.4%で、この割合は前年度とほぼ同じです。

日帰り客・宿泊客別入り込み状況

日帰り客54.6%、宿泊客が45.4%で、日帰り客の割合が増加し、宿泊客の割合が低下しています。

交通機関別入り込み状況

航空機が前年度を下回り、95.6%と減少しましたが、他の全ての機関で増加しており、中でも貸し切りバスは、118.3%と大きく増加しました。

外国人延べ宿泊者数

22万2,425人で、対前年度比95.8%と減少しましたが、SARSやイラク戦争の影響による、旅行手控えなどの原因が考えられます。

(4) 主な課題

来札観光客は増加しましたが、宿泊客の割合が低下しています。

下期の来札観光客が伸び悩んでおり年間を通じて安定した集客につながっていません。

(5) 課題への対応

今後は、他の道内観光地域との連携を一層進め、札幌での滞在期間の延長につながる体験型・滞在型観光の振興に取り組むとともに、まち全体で芸術・文化、自然など札幌独自の魅力を国内外に強力にアピールし、通年観光の促進を図っていきます。

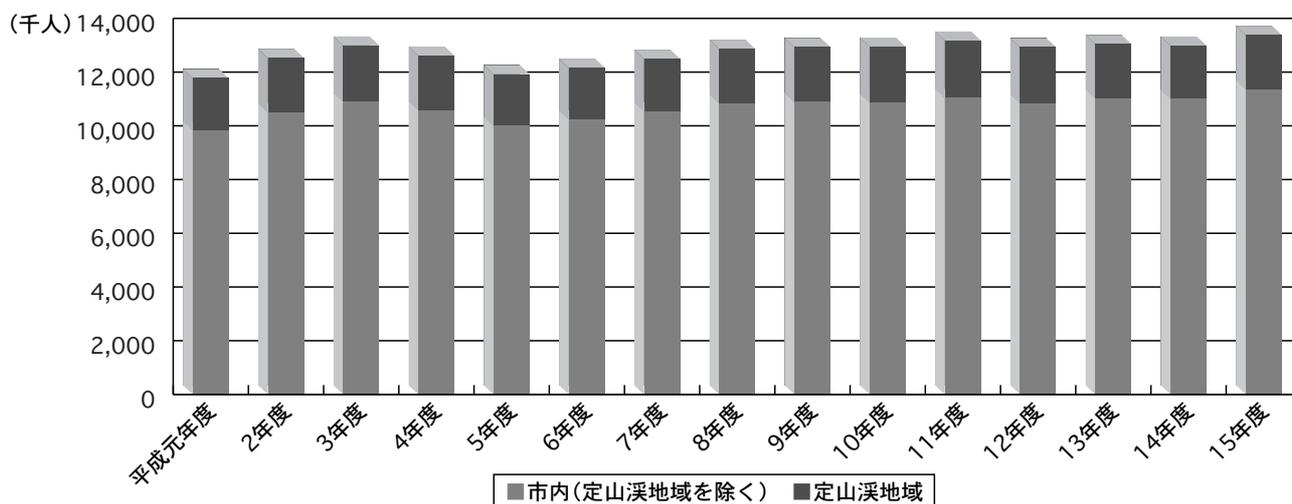
2 観光客の入り込み状況

来札観光客数の推移

各年度中

年 度	全 市		定 山 溪 地 域	
	観光客数 (千人)	前年度比 (%)	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成元年(1989)年度	11,847	106.5	2,331	104.5
2(1990)年度	12,634	106.6	2,456	105.3
3(1991)年度	13,177	104.3	2,535	103.2
4(1992)年度	12,736	96.7	2,460	97.1
5(1993)年度	12,046	94.6	2,313	94.0
6(1994)年度	12,334	102.4	2,316	100.1
7(1995)年度	12,696	102.9	2,356	101.7
8(1996)年度	13,054	102.8	2,446	103.8
9(1997)年度	13,106	100.4	2,468	100.9
10(1998)年度	13,081	99.8	2,515	101.9
11(1999)年度	13,304	101.7	2,565	102.0
12(2000)年度	13,050	98.1	2,517	98.1
13(2001)年度	13,280	101.8	2,434	96.7
14(2002)年度	13,251	99.8	2,392	98.3
15(2003)年度	13,683	103.3	2,439	102.0

来札観光客数の推移



(平成15年度は調査開始以来、過去最高を記録しました。)

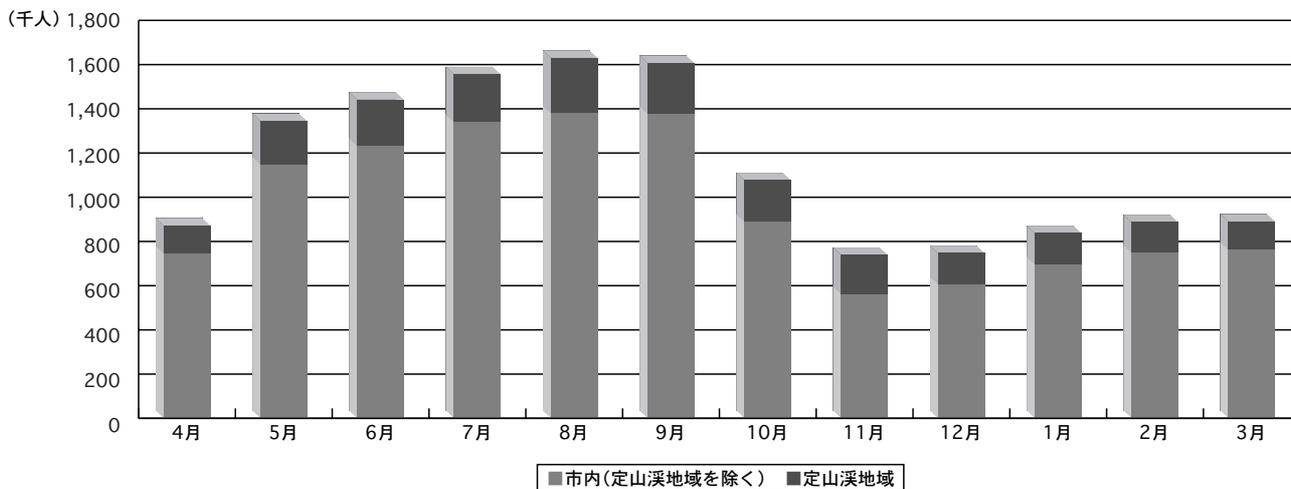
月別入り込み状況

(単位：千人)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
11年度	13,304	821	1,188	1,292	1,441	1,583	1,444	1,129	798	806	864	968	970
12年度	13,050	770	1,122	1,272	1,427	1,524	1,471	1,108	799	850	876	913	918
13年度	13,280	811	1,166	1,388	1,455	1,609	1,509	1,134	788	806	824	914	876
14年度	13,251	862	1,180	1,321	1,449	1,607	1,473	1,049	782	815	837	920	956
15年度	13,683	877	1,350	1,448	1,575	1,622	1,620	1,046	758	792	818	881	896
前年度比(%)	103.3	101.7	114.4	109.6	108.7	100.9	110.0	99.7	96.9	97.2	97.7	95.8	93.7
う ち 定 山 溪 地 域													
11年度	2,565	153	232	234	252	315	275	260	173	152	180	175	164
12年度	2,517	142	218	242	260	313	279	249	171	146	177	164	156
13年度	2,434	150	210	235	249	292	262	259	171	139	164	177	126
14年度	2,392	155	222	244	243	295	255	218	158	135	161	163	143
15年度	2,439	148	230	246	254	294	269	219	158	144	166	161	150
前年度比(%)	102.0	95.5	103.6	100.8	104.5	99.7	105.5	100.5	100.0	106.7	103.1	98.8	104.9

月別入り込み状況



(10月から翌年4月頃までの期間の観光客数の落ち込みが目立ちます。)

3 交通機関別入り込み状況

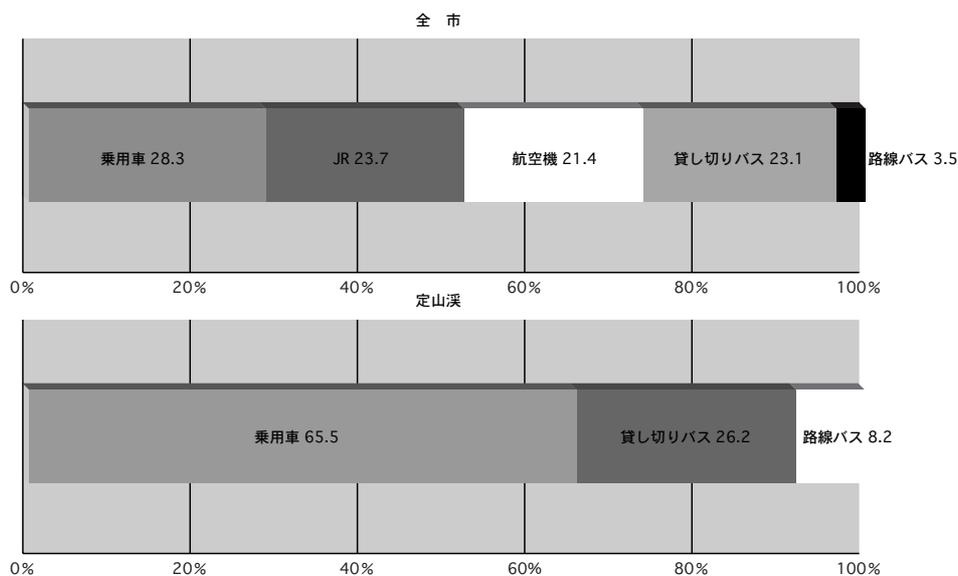
交通機関別入り込み状況

(単位：千人、%)

各年度中

年 度	全 市						定 山 溪 地 域			
	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	貸し切りバス	路線バス
観 光 客 数										
11年度	13,304	4,107	3,189	3,003	2,482	523	2,565	1,754	668	143
12年度	13,050	4,045	3,170	2,919	2,371	545	2,517	1,723	631	163
13年度	13,280	3,967	3,130	3,024	2,657	502	2,434	1,624	654	156
14年度	13,251	3,859	3,199	3,061	2,673	459	2,392	1,620	626	146
15年度	13,683	3,878	3,242	2,925	3,162	476	2,439	1,598	640	201
構 成 比										
11年度	100.0	30.8	24.0	22.6	18.7	3.9	100.0	68.4	26.0	5.6
12年度	100.0	30.9	24.3	22.4	18.2	4.2	100.0	68.4	25.1	6.5
13年度	100.0	29.9	23.6	22.7	20.0	3.8	100.0	66.7	26.9	6.4
14年度	100.0	29.1	24.1	23.1	20.2	3.5	100.0	67.7	26.2	6.1
15年度	100.0	28.3	23.7	21.4	23.1	3.5	100.0	65.5	26.2	8.2
前 年 度 比										
11年度	101.7	100.2	99.9	105.7	101.4	104.2	102.0	100.0	107.6	102.1
12年度	98.1	98.5	99.4	97.2	95.5	104.2	98.1	98.2	94.5	114.0
13年度	101.8	98.1	98.7	103.6	112.1	92.1	96.7	94.3	103.6	95.7
14年度	99.8	97.3	102.2	101.2	100.6	91.4	98.3	99.8	95.7	93.6
15年度	103.3	100.5	101.3	95.6	118.3	103.7	102.0	98.6	102.2	137.7

交通機関別入り込み状況



(全市的には乗用車、J R、航空機、貸し切りバスそれぞれほぼ同様の割合で入り込みがありますが、定山溪は乗用車での入り込みが多くなっています。)

4 日帰り・宿泊客別入り込み状況

日帰り・宿泊客別入り込み状況

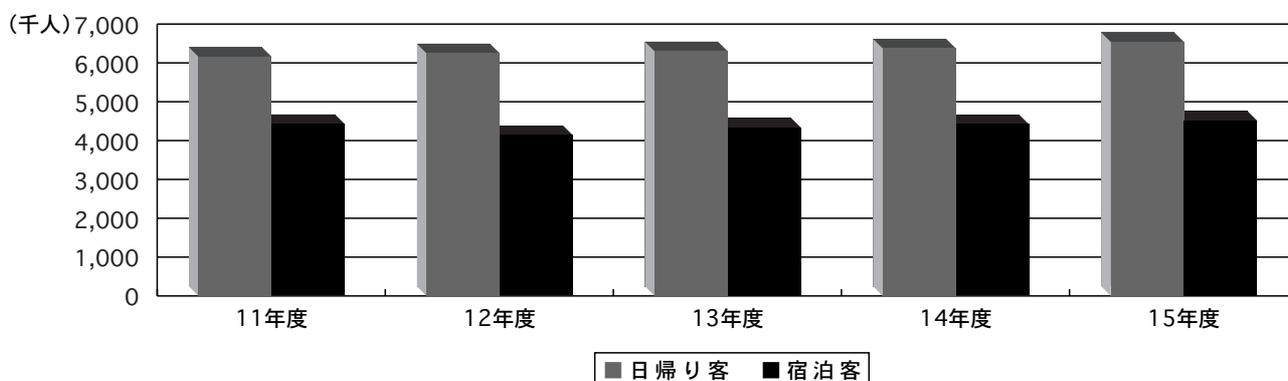
(単位：千人)

各年度中

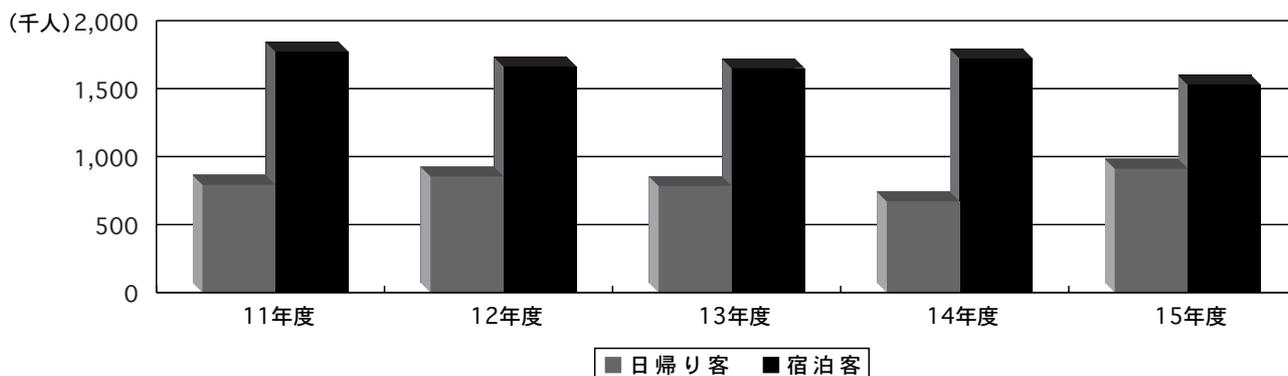
年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客
全 市									
11年度	13,304	7,040	6,264	100.0	52.9	47.1	101.7	101.2	102.2
12年度	13,050	7,141	5,909	100.0	54.7	45.3	98.1	101.4	94.3
13年度	13,280	7,200	6,080	100.0	54.2	45.8	101.8	100.8	102.9
14年度	13,251	6,998	6,253	100.0	52.8	47.2	99.8	97.2	102.8
15年度	13,683	7,475	6,208	100.0	54.6	45.4	103.3	106.8	99.3
う ち 定 山 溪 地 域									
11年度	2,565	793	1,772	100.0	30.9	69.1	102.0	101.9	102.0
12年度	2,517	854	1,663	100.0	33.9	66.1	98.1	107.7	93.8
13年度	2,434	784	1,650	100.0	32.2	67.8	96.7	91.8	99.2
14年度	2,392	671	1,721	100.0	28.1	71.9	98.3	85.6	104.3
15年度	2,439	911	1,528	100.0	37.4	62.6	102.0	135.8	88.8

日帰り・宿泊客別入り込み状況

市内（定山溪地域を除く）



定山溪地域



(15年度は定山溪地域で宿泊客が減少し、日帰り客が増加しています。)

5 道内客・道外客別入り込み状況

道内客・道外客別入り込み状況

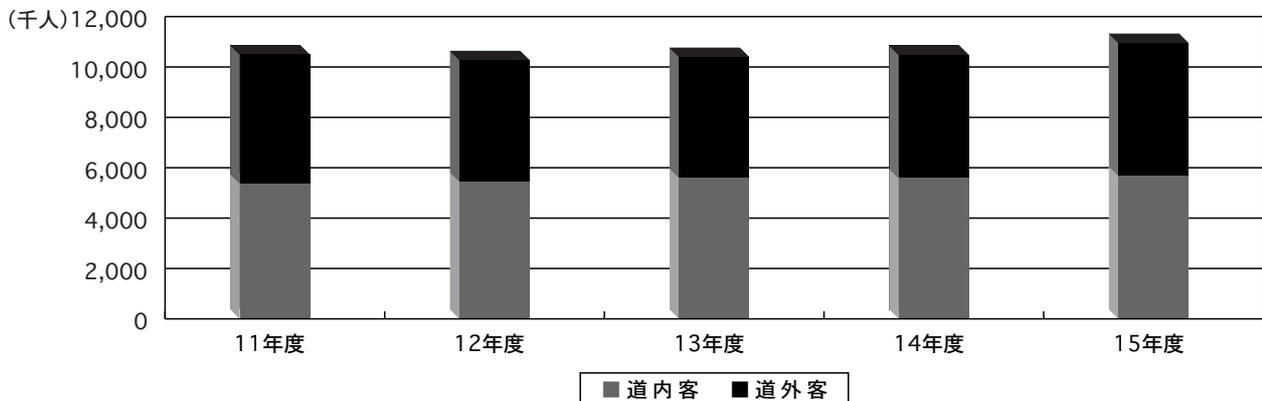
(単位：千人、%)

各年度中

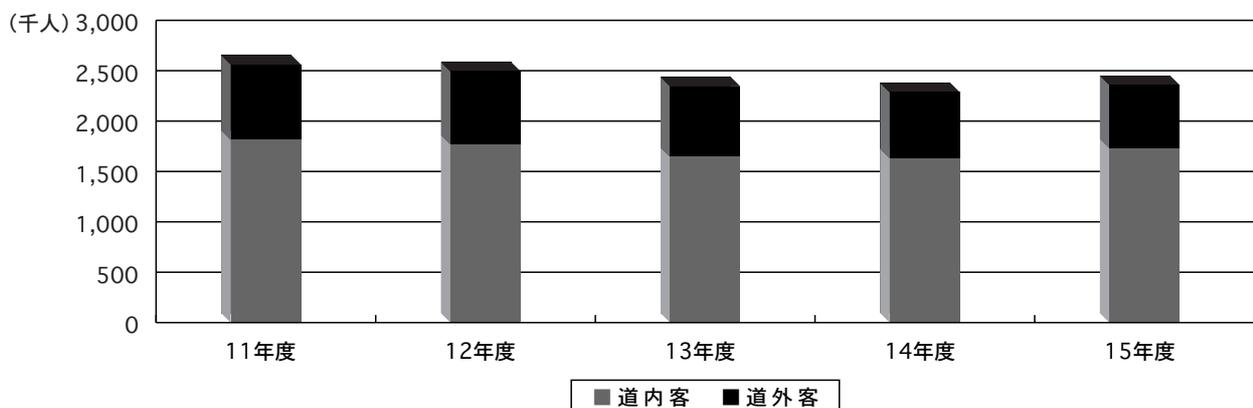
年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客
全 市									
11年度	13,304	7,420	5,884	100.0	55.8	44.2	101.7	101.5	102.0
12年度	13,050	7,394	5,656	100.0	56.7	43.3	98.1	99.6	96.1
13年度	13,280	7,243	6,037	100.0	54.5	45.5	101.8	98.0	106.7
14年度	13,251	7,180	6,071	100.0	54.2	45.8	99.8	99.1	100.6
15年度	13,683	7,465	6,218	100.0	54.6	45.4	103.3	104.0	102.4
う ち 定 山 溪 地 域									
11年度	2,565	1,812	753	100.0	70.6	29.4	102.0	101.1	104.3
12年度	2,517	1,786	731	100.0	70.9	29.1	98.1	98.6	97.1
13年度	2,434	1,683	751	100.0	69.0	31.0	96.7	94.2	102.7
14年度	2,392	1,649	743	100.0	68.8	31.2	98.3	98.0	98.9
15年度	2,439	1,711	728	100.0	70.2	29.8	102.0	103.8	98.0

道内客・道外客別入り込み状況

市内（定山溪地域を除く）



定山溪地域



(定山溪地域では、道内客が増加し、道外客が減少しています。)

第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

ア 構造や設備による分類

- (ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

- (ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて運輸大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

なお、本書では、利用された客室数を利用可能客室数で除して求めた客室稼働率によって、宿泊施設の利用状況を調査しています。

$$\text{客室可動率} = \frac{\text{利用された客室数}}{\text{利用可能客室数}}$$

(2) 調査の内容

- ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答をまとめました。
- イ 時期 上期15年4月～9月と下期15年10月～16年3月の年2回
- ウ 項目 客室規模、利用者数、修学旅行生の利用状況、外国人の利用状況

(3) 動向

ア 宿泊施設の利用状況

市内ホテルの客室稼働率は、公的ホテルの他は増加しています。定山溪地域旅館の客室稼働率は、公的旅館のみ増加しています。

イ 外国人の宿泊状況

約4%減の22万2,425人になりました。アジアからの旅行者が全体の8割近くを占め、そのうちの9割以上は、香港、台湾、韓国からの旅行者です。対前年度比で一番伸びが目立ったのは、ロシアの67.4%増でした。

ウ 修学旅行生の宿泊状況

約6%減の20万361人になりました。発地別で見ると、近畿の占める割合が、18.6%と一番多く、続いて、関東の17.9%、九州・沖縄の16.1%の順となっております。

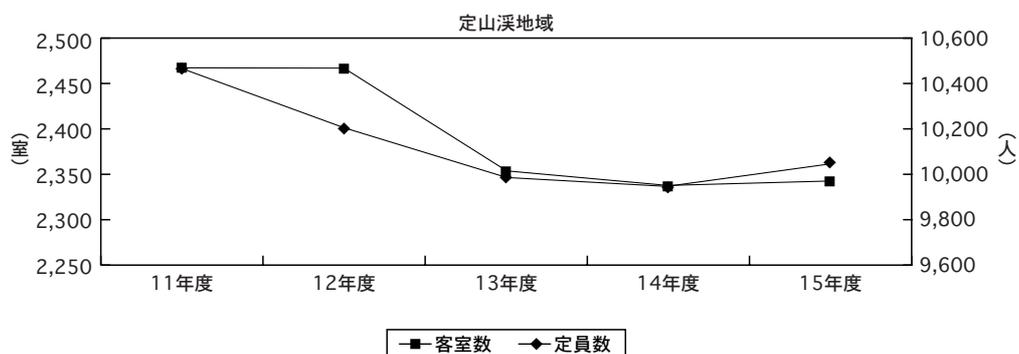
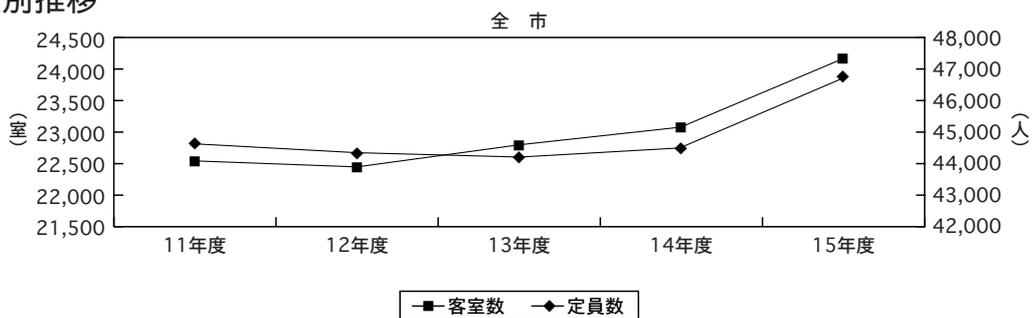
2 宿泊施設の状況

概況年度別推移

各年度末現在

年 度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 泊 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
全 市												
11年度	216	22,584	44,789	128	18,732	30,803	76	3,215	12,718	12	637	1,268
12年度	206	22,474	44,300	127	18,803	31,041	68	3,008	12,009	11	663	1,250
13年度	207	22,771	44,288	127	19,151	31,253	68	2,948	11,733	12	672	1,302
14年度	208	23,117	44,544	129	19,467	31,415	65	2,959	11,810	14	691	1,319
15年度	203	24,236	46,950	128	20,641	33,866	61	2,920	11,794	14	675	1,290
市 内 (定 山 溪 地 域 を 除 く)												
11年度	171	20,117	34,286	128	18,732	30,803	32	752	2,247	11	633	1,236
12年度	167	20,087	34,087	127	18,803	31,041	29	621	1,796	11	663	1,250
13年度	168	20,416	34,297	127	19,151	31,253	29	593	1,742	12	672	1,302
14年度	174	20,779	34,590	129	19,467	31,415	31	621	1,856	14	691	1,319
15年度	169	21,898	36,902	128	20,641	33,866	27	582	1,746	14	675	1,290
う ち 定 山 溪 地 域												
11年度	45	2,467	10,503	-	-	-	44	2,463	10,471	1	4	32
12年度	39	2,387	10,213	-	-	-	39	2,387	10,213	0	0	0
13年度	39	2,355	9,991	-	-	-	39	2,355	9,991	0	0	0
14年度	34	2,338	9,954	-	-	-	34	2,338	9,954	0	0	0
15年度	34	2,338	10,048	-	-	-	34	2,338	10,048	0	0	0

概況年度別推移



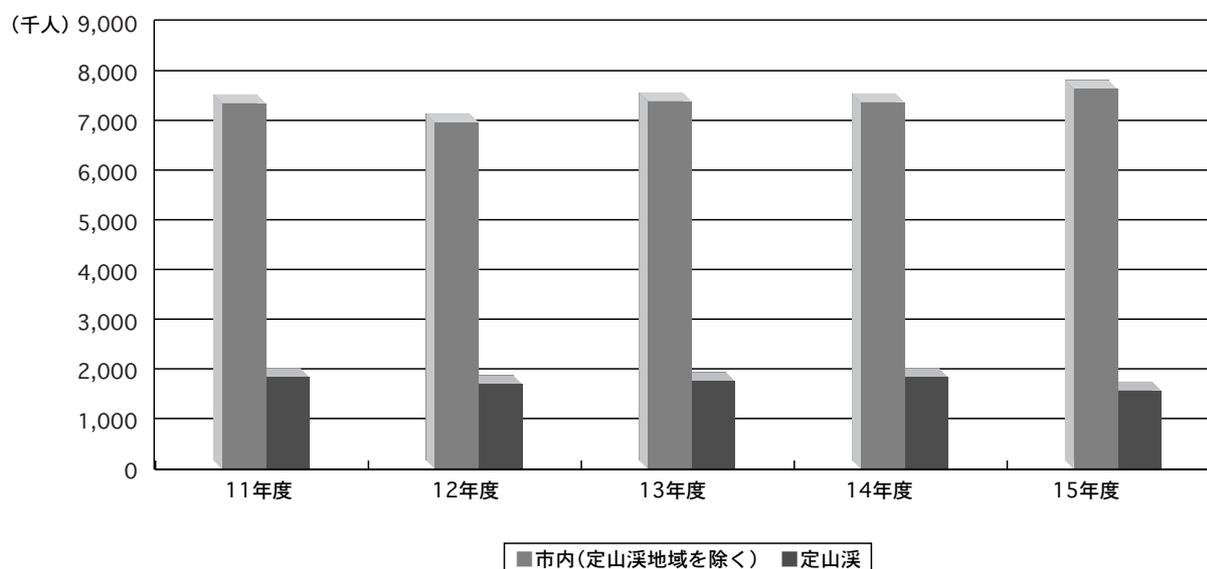
(客室数は全市的には増加傾向ですが、定山溪地域の旅館では減少傾向にあります。)

3 宿泊施設利用状況

宿泊施設利用者数の推移

年 度	全 市		市内 (定山溪地域を除く)	うち定山溪地域
	千人	前年度比 %		
11年度	9,418	102.3	7,488	1,930
12年度	8,889	94.4	7,077	1,812
13年度	9,331	105.0	7,438	1,893
14年度	9,478	101.6	7,550	1,928
15年度	9,477	100.0	7,767	1,710

宿泊施設利用者数の推移



(平成12年度以降、市内宿泊者数は増加傾向にあります。平成15年度については、市内宿泊者数は上昇しましたが、定山溪の宿泊者数は減少しています。)

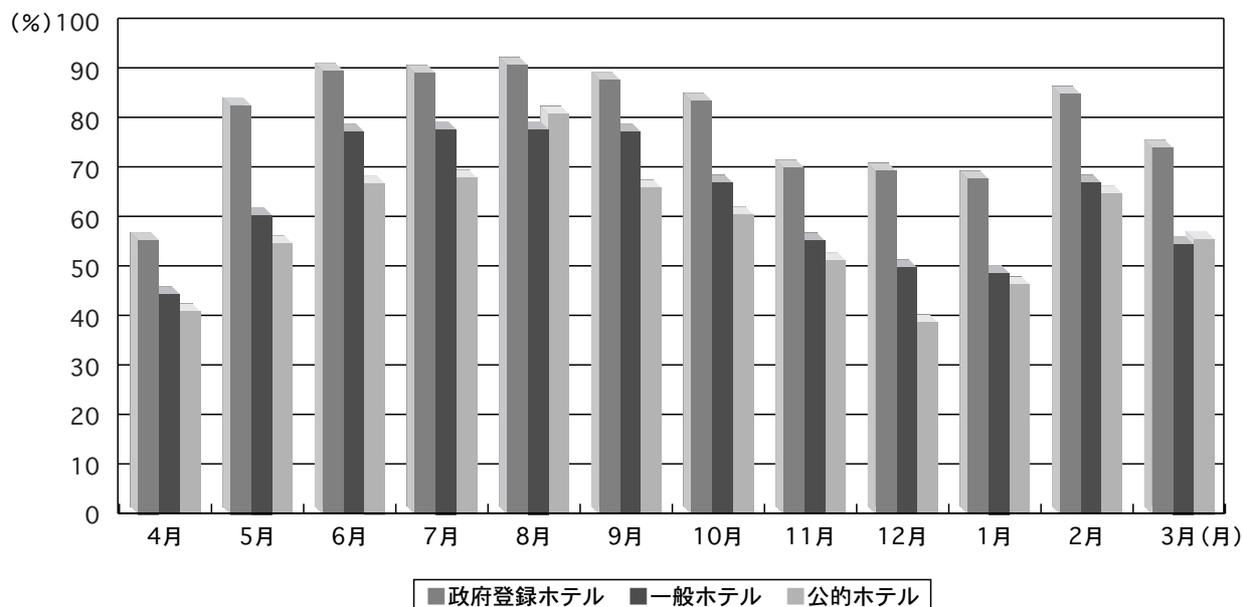
市内ホテルの客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ホ テ ル													
11年度	78.0	56.8	74.8	83.6	88.6	84.8	87.3	85.4	70.7	67.7	68.1	88.9	79.1
12年度	77.0	51.3	67.9	81.3	87.8	84.7	95.6	81.1	72.1	70.6	68.1	85.8	77.8
13年度	77.5	57.2	75.4	85.6	84.3	84.9	92.3	77.9	69.6	72.9	67.7	86.9	75.0
14年度	73.1	56.8	71.9	79.1	84.0	84.0	88.2	72.3	61.8	64.2	63.1	80.8	71.3
15年度	80.0	57.7	82.7	90.3	90.1	91.7	89.9	84.6	70.9	70.7	69.4	86.5	75.7
一 般 ホ テ ル													
11年度	64.0	42.3	57.3	70.5	80.2	78.4	77.3	70.7	55.7	51.2	49.8	74.4	59.5
12年度	63.7	39.1	53.0	71.0	75.2	78.6	79.6	69.5	60.1	55.3	53.0	74.8	57.2
13年度	64.4	42.9	55.9	71.5	73.3	76.2	81.0	63.4	57.2	59.6	55.7	77.1	58.8
14年度	63.2	46.3	54.3	68.3	72.8	78.0	77.8	67.3	55.1	55.4	53.1	73.0	58.1
15年度	64.3	45.2	61.3	78.1	79.0	79.1	78.7	67.9	56.3	52.0	50.0	68.2	56.1
公 的 ホ テ ル													
11年度	67.4	39.4	63.1	80.2	87.1	85.6	83.7	76.4	59.0	42.3	47.8	75.5	58.7
12年度	65.1	42.7	58.9	76.6	86.1	84.6	82.8	65.6	60.2	45.1	49.1	70.4	57.7
13年度	66.5	43.6	60.4	76.9	83.9	84.9	83.5	69.5	61.0	51.5	55.2	74.1	58.0
14年度	65.7	50.2	63.2	77.5	85.0	86.9	84.0	64.3	56.2	44.8	50.2	71.8	55.4
15年度	59.2	41.8	55.8	68.9	69.3	82.1	68.4	61.1	52.6	40.0	47.2	66.5	57.5

市内ホテルの客室稼働率



(政府登録ホテル、一般ホテル、公的ホテルとも、11月以降の客室稼働率は下がっていますが、「さっぽろ雪まつり」が開催される2月には、大きく上昇しています。)

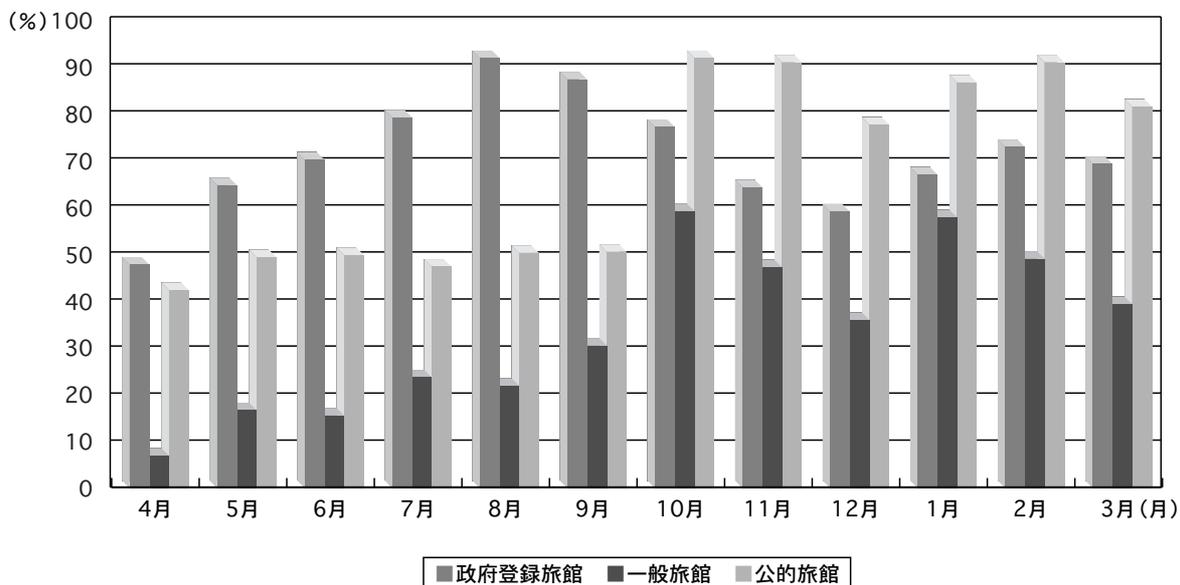
定山溪地域旅館の客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 旅 館													
11年度	71.7	53.3	63.2	71.6	80.4	94.8	78.0	87.3	67.0	58.2	68.4	75.4	64.6
12年度	70.7	53.8	59.5	62.7	75.3	84.3	79.4	84.2	69.9	64.9	74.7	74.0	66.7
13年度	74.5	50.6	62.1	64.3	68.9	79.5	81.4	87.4	78.2	77.9	82.1	86.3	76.5
14年度	78.6	63.1	72.7	79.8	80.7	88.9	87.2	89.5	76.2	72.7	78.8	78.8	75.7
15年度	71.7	49.1	65.6	70.8	80.2	93.0	87.8	78.4	65.9	60.1	67.4	73.4	69.4
一 般 旅 館													
11年度	58.3	47.7	69.2	64.4	63.6	64.2	67.1	65.2	31.0	27.2	38.0	41.6	25.0
12年度	47.7	22.3	24.5	25.7	63.7	24.1	39.8	64.7	52.5	42.1	65.6	62.1	66.3
13年度	54.6	48.3	65.6	53.4	52.7	62.2	70.0	60.4	45.0	35.9	51.1	53.2	34.9
14年度	46.7	30.5	48.0	69.4	49.3	49.0	55.9	49.5	46.2	50.1	33.8	33.2	45.6
15年度	34.0	7.5	17.2	15.7	24.3	21.1	31.2	60.1	48.1	36.0	59.0	49.6	39.3
公 的 旅 館													
11年度	49.7	35.0	45.0	41.9	48.0	54.3	50.3	61.8	56.9	46.0	53.7	52.8	49.3
12年度	51.0	40.6	46.5	49.9	46.5	51.0	49.7	62.4	57.9	46.9	58.2	53.9	52.9
13年度	53.3	44.8	46.4	46.6	40.5	49.6	51.5	67.5	62.3	50.2	59.7	58.7	56.8
14年度	60.7	48.0	50.9	53.3	48.9	54.1	52.7	75.7	73.1	61.4	68.4	71.4	71.3
15年度	68.4	44.3	49.8	50.7	48.3	50.3	51.8	92.5	91.2	79.1	87.7	93.5	82.4

定山溪地域旅館の客室稼働率



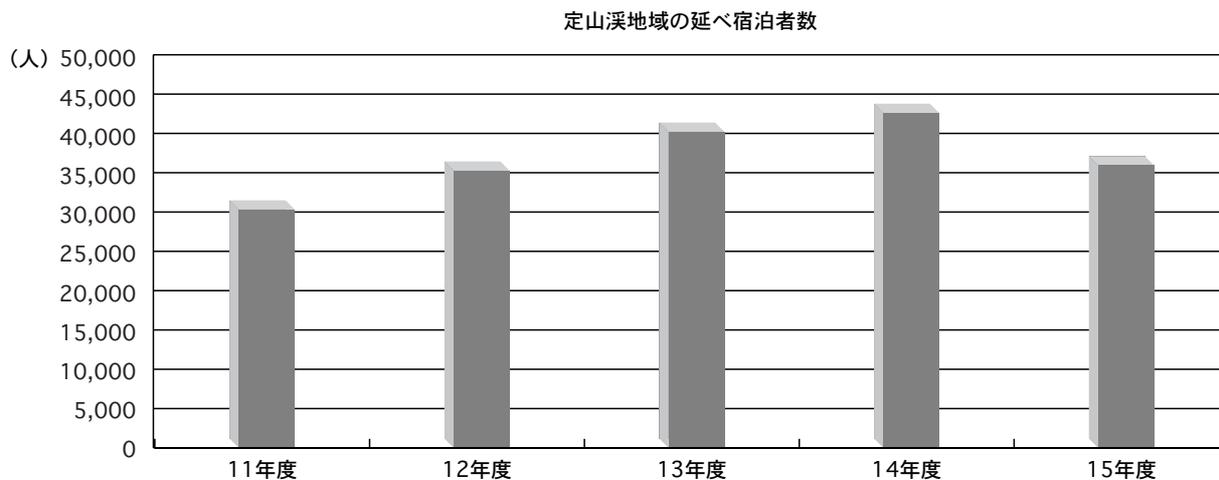
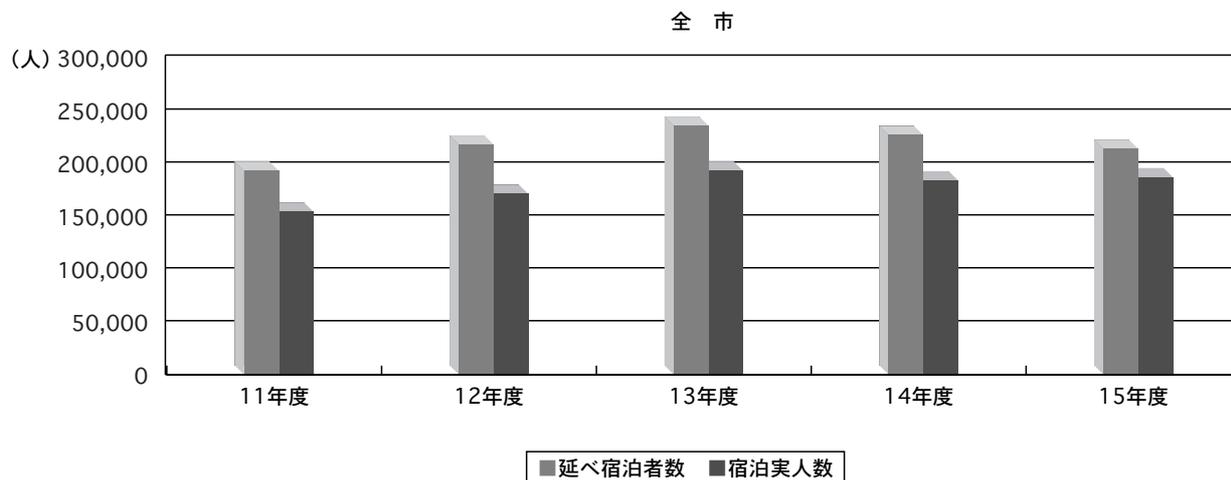
(政府登録旅館については、8月が最も客室稼働率が高くなっています。一般旅館については、4月から8月までの稼働率が30%を下回っています。公的旅館については、観楓会シーズンの10月、11月と「さっぽろ雪まつり」が開催される2月の稼働率が高く、下期の稼働率が高くなっています。)

4 外国人の宿泊状況

外国人の宿泊年度別推移

区 分	延 べ 宿 泊 者 数				全市宿泊 実人数	全市平均 宿泊日数
	全 市	前年度比	市内(定山溪 地域を除く)	定山溪地域		
	人	%	人	人	人	日
11年度	201,698	127.2	170,060	31,638	162,783	1.2
12年度	223,046	110.6	186,917	36,129	180,069	1.2
13年度	241,948	108.5	201,282	40,666	199,453	1.2
14年度	232,072	95.9	188,693	43,379	187,911	1.2
15年度	222,425	95.8	185,523	36,902	195,086	1.1

外国人の宿泊年度別推移

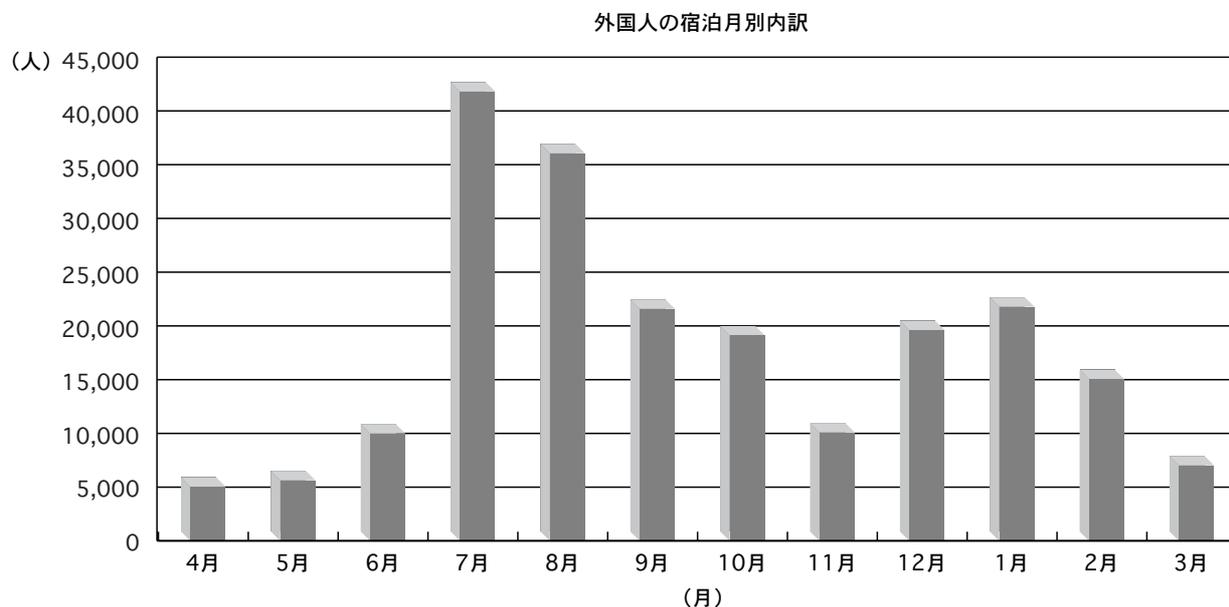


(15年度については、全市の延べ宿泊者数は減少していますが、宿泊実人数は増加しています。定山溪地域の延べ宿泊者数は増加傾向にありましたが、15年度は減少しました。)

外国人の宿泊月別内訳

月次	全 市			市内(定山溪 地域を除く)	定山溪 地域
	人	前年度比 %	構成比 人		
合 計	222,425	95.8	100.0	185,523	36,902
平成15年4月	5,388	48.2	2.4	5,162	226
5月	6,509	49.8	2.9	6,163	346
6月	10,954	40.1	4.9	9,728	1,226
7月	42,570	116.2	19.1	33,756	8,814
8月	36,557	133.3	16.4	27,907	8,650
9月	22,347	167.4	10.0	18,123	4,224
10月	19,914	119.2	9.0	15,243	4,671
11月	11,875	97.7	5.3	10,145	1,730
12月	20,387	88.9	9.2	18,680	1,707
平成16年1月	22,102	138.6	9.9	19,757	2,345
2月	15,963	57.3	7.2	14,034	1,929
3月	7,859	105.5	3.5	6,825	1,034

外国人の宿泊月別内訳



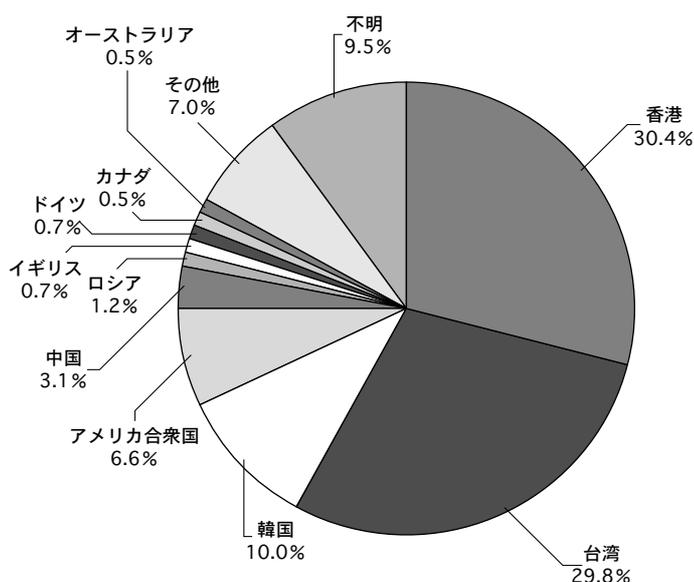
(4月から6月は、SARSやイラク戦争の影響による旅行手控えなどにより、対前年度比で50%以下となっていますが、7月から10月、1月と3月は前年度よりも増加しています。)

外国人の宿泊発地別内訳

(単位：人・%)

州名、国・地域名	延べ宿泊者数	構 成 比	前年度比
	人	%	%
合 計	222,425	100.0	95.8
(州 別)			
ア ジ ア	170,943	76.9	89.2
北 米	15,913	7.2	115.4
ヨ ー ロ ッ パ	12,141	5.5	68.5
オ セ ア ニ ア	1,587	0.7	106.4
中 南 米	505	0.2	20.8
ア フ リ カ	150	0.1	57.7
不 明	21,186	9.5	442.9
(国 ・ 地 域 別)			
香 港	67,631	30.4	103.6
台 湾	66,201	29.8	71.3
韓 国	22,144	10.0	109.4
アメリカ合衆国	14,711	6.6	119.2
中 国	6,834	3.1	84.7
ロ シ ア	2,736	1.2	167.4
イ ギ リ ス	1,497	0.7	20.7
ド イ ツ	1,482	0.7	53.8
カ ナ ダ	1,202	0.5	82.8
オーストラリア	1,160	0.5	99.5
そ の 他	15,641	7.0	109.7
不 明	21,186	9.5	442.9

外国人の宿泊発地別内訳



(平成9年度以降、台湾が首位を独走していましたが、初めて香港が首位となりました。香港、韓国、アメリカ、ロシアが前年度を上回っています。)

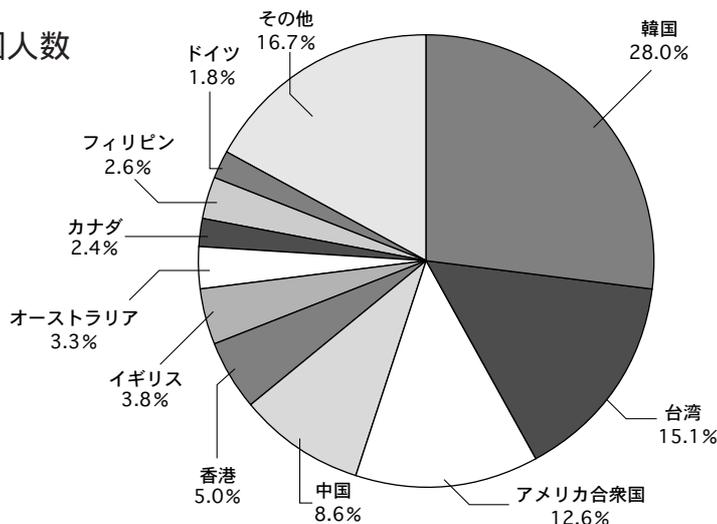
訪日外国人数

平成15年度中

州名、国・地域名	延べ宿泊者数		構成比	平成14年	前年度比
	人	うち、観光客			
合計	5,211,725	3,055,340	100.0	5,238,963	99.5
(州別)					
アジア	3,511,513	2,142,267	67.4	3,417,774	102.7
北アメリカ	798,358	447,483	15.3	893,971	89.3
ヨーロッパ	648,495	305,473	12.4	671,495	96.6
オセアニア	206,994	140,717	4.0	200,789	103.1
南アメリカ	25,987	13,488	0.5	33,627	77.3
アフリカ	19,015	5,318	0.4	19,353	98.3
無国籍・その他	1,363	594	0.03	1,954	69.8
韓国	1,459,333	917,590	28.0	1,271,835	114.7
台湾	785,379	681,490	15.1	877,709	89.5
アメリカ合衆国	655,821	350,674	12.6	731,900	89.6
中国	448,782	95,991	8.6	452,420	99.2
香港	260,214	228,073	5.0	290,624	89.5
イギリス	200,543	110,510	3.8	219,271	91.5
オーストラリア	172,134	122,002	3.3	164,896	104.4
カナダ	126,065	87,647	2.4	131,542	95.8
フィリピン	137,584	26,742	2.6	129,914	105.9
ドイツ	93,571	35,328	1.8	93,936	99.6
その他	872,299	399,293	16.7	874,916	99.7

注)一次上陸を含む。
資料「国際観光振興会(JNTO)資料」

訪日外国人数



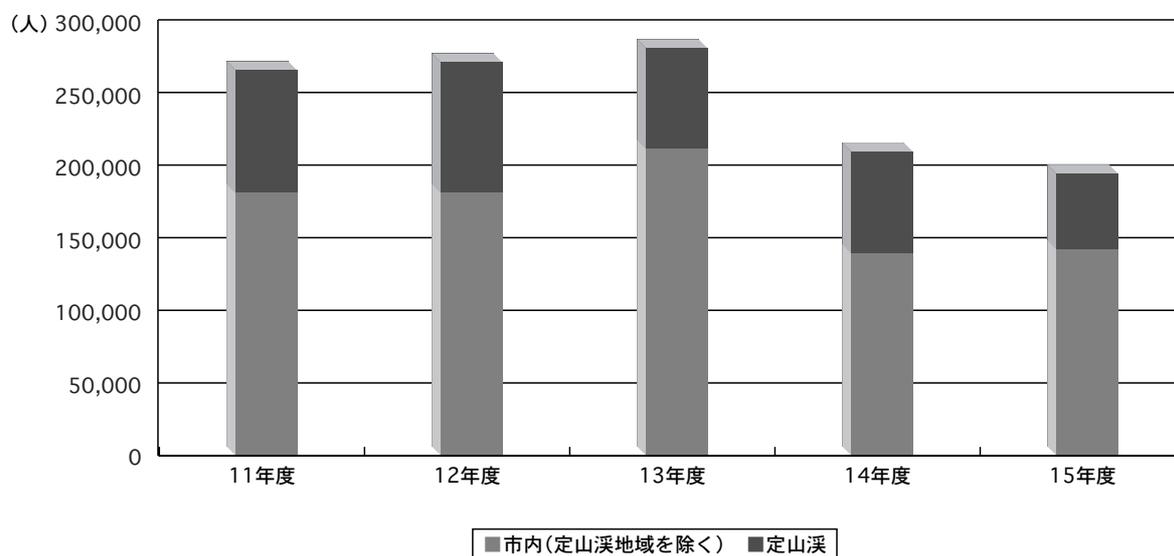
(日本全体では、韓国が首位となっています。韓国、オーストラリア、フィリピンが前年度を上回っています。)

5 修学旅行生の宿泊状況

修学旅行生の宿泊月別内訳

区 分	全 市		市内（定山溪地域を除く）		定山溪地域	
	学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数
	校	人	校	人	校	人
11年度	1,579	271,974	1,261	187,066	318	84,908
12年度	1,559	280,083	1,111	188,541	448	91,542
13年度	1,585	283,493	1,217	208,701	368	74,792
14年度	1,274	212,848	876	140,949	398	71,899
15年度	1,265	200,361	911	144,629	354	55,732
平成15年4月	20	1,860	18	1,570	2	290
5月	249	24,885	170	18,106	79	6,779
6月	266	36,911	178	28,091	88	8,820
7月	142	19,825	91	13,524	51	6,301
8月	54	4,972	42	4,392	12	580
9月	199	24,926	127	16,297	72	8,629
10月	139	30,346	124	26,914	15	3,432
11月	14	1,844	13	1,807	1	37
12月	64	20,415	50	12,096	14	8,319
平成16年1月	56	18,230	48	11,940	8	6,290
2月	44	12,426	35	7,143	9	5,283
3月	18	3,721	15	2,749	3	972

修学旅行生宿泊延べ人数年度別推移

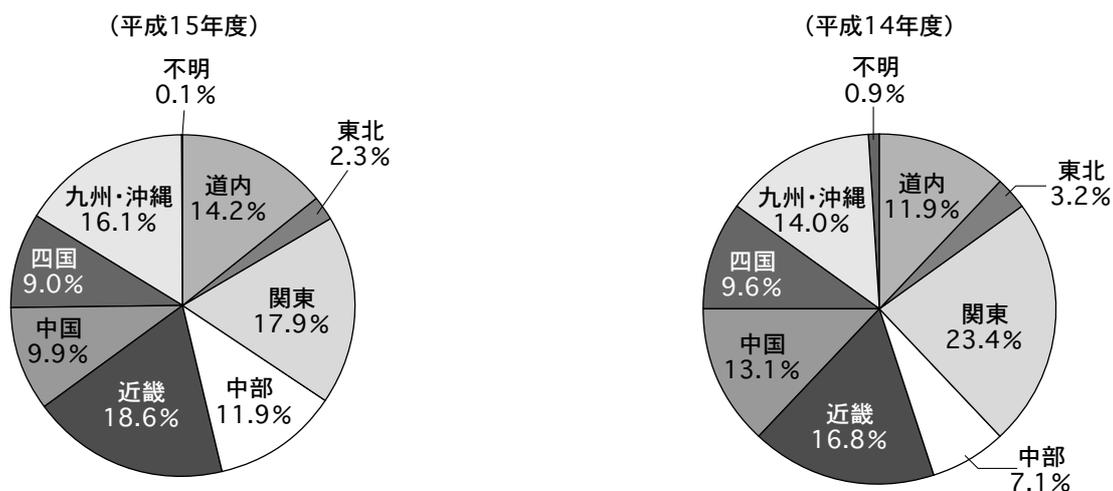


(11年度から13年度にかけて増加傾向にありましたが、14年度以降は落ち込んでいます。)

修学旅行生の宿泊発地別内訳

区 分	全 市			市内(定山溪地域を除く)		定山溪地域	
	学校数	宿泊延べ人数		学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数
		人	構成比				
合 計	校 1,265	人 200,361	% 100.0	校 911	人 144,629	校 354	人 55,732
道 内	441	28,456	14.2	267	16,944	174	11,512
東 北	40	4,585	2.3	36	4,089	4	496
関 東	198	35,786	17.9	138	28,070	60	7,716
中 部	127	23,941	11.9	109	20,567	18	3,374
近 畿	161	37,206	18.6	105	23,065	56	14,141
中 国	115	19,798	9.9	107	16,618	8	3,180
四 国	79	18,091	9.0	70	15,081	9	3,010
九州・沖縄	103	32,216	16.1	78	19,913	25	12,303
不 明	1	282	0.1	1	282	0	0

修学旅行生の宿泊発地別内訳（グラフ）



(14年度と15年度を比較すると、道内、中部、近畿、九州・沖縄地域の割合が増大し、東北、関東、中国、四国地域の割合が減少しています。)

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

現在、この祭りは主会場の大通公園のほか、真駒内、すすきのの3会場で開催されており、総数で300基を超える雪氷像が、7日間にわたって市民や観光客を楽しませています。

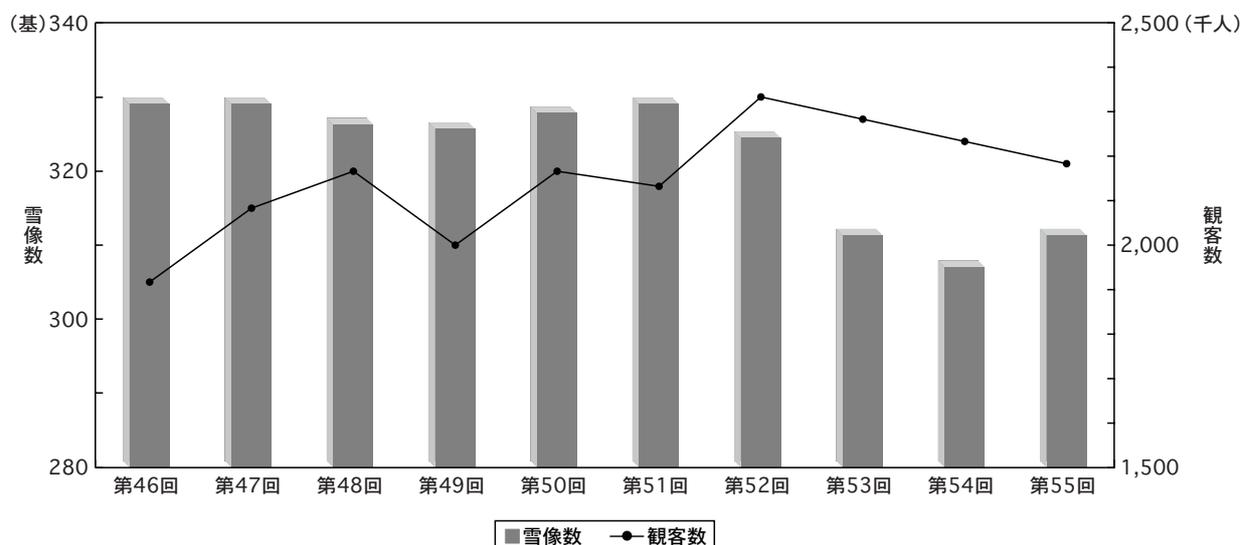
(URL) <http://www.snowfes.com/>

第55回さっぽろ雪まつりの開催概要

期 間	平成16年2月5日(木)~11日(水)〔7日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西1~12丁目
	真 駒 内 会 場	陸上自衛隊真駒内駐屯地
	すすきの会場	駅前通(南4~7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉開放(真駒内 2月4日) ・開会式(真駒内 2月5日) ・国際雪像コンクール 18チーム(大通西11丁目) ・市民雪像(大通 小雪像155基、中雪像3基、バーチャル雪まつり雪像1基) ・さよなら雪まつり(大通西4丁目 2月11日) ・ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施) 	
雪 氷 像 数	311基(大雪像10基、中雪像6基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5tトラックで約7,000台	1月7日開始

観客数、雪氷像数の推移（過去10年）

	第46回 (平成7年)	第47回 (平成8年)	第48回 (平成9年)	第49回 (平成10年)	第50回 (平成11年)	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)
雪像数(基)	330	330	327	326	328	330	325	312	308	311
観客数 (千人)	1,912	2,044	2,174	2,007	2,201	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179



(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。

よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内に展開する各会場で腕を競い合います。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

本市の新しいタイプの祭りとして、広く市民の共感を得ています。



「YOSAKOIソ - ラン祭り組織委員会提供」

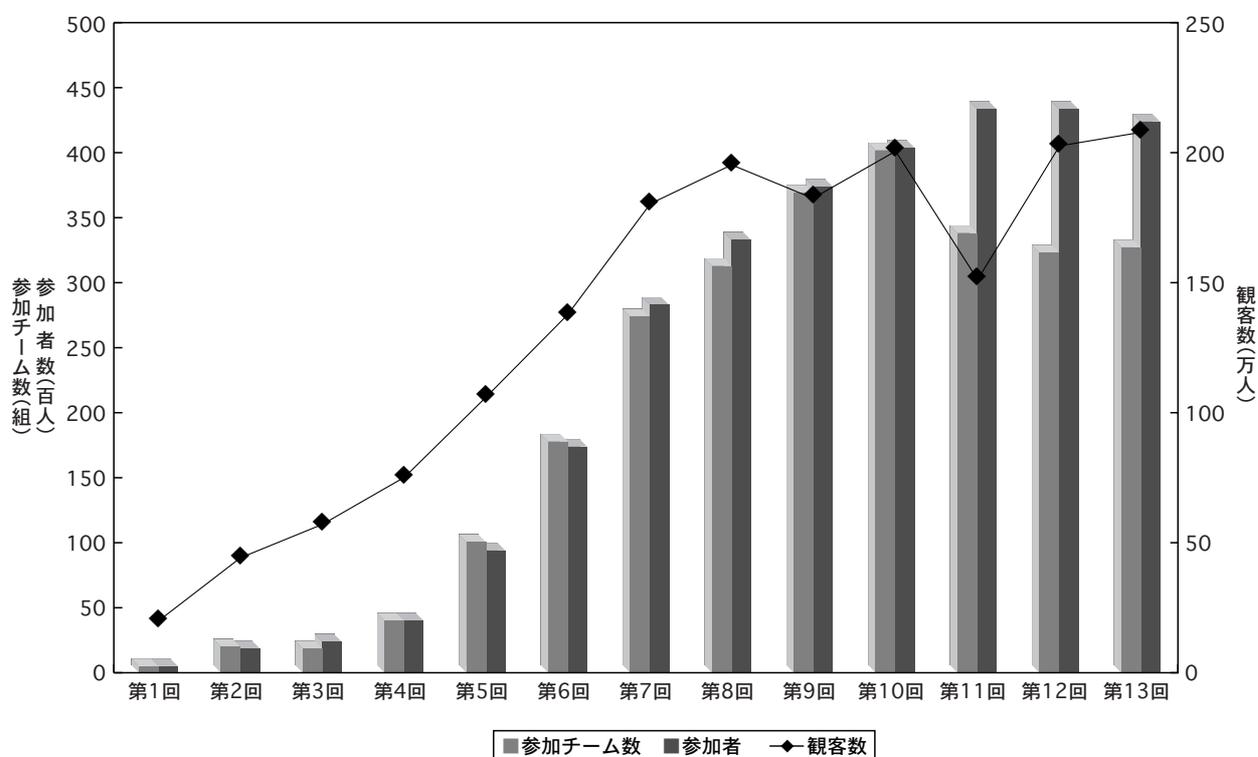
(URL) <http://www.yosanet.com/>

第12・13回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要

	第12回（平成15年度）	第13回（平成16年度）
期 間	平成15年6月4日(水)～8日(日)	平成16年6月9日(水)～13日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内25会場	
参 加 者	延べ44,000人 330チーム	延べ43,000人 333チーム
うち市内	94チーム	90チーム
道内	163チーム	154チーム
その他	73チーム	89チーム
観 客 数	202万人	208万人
経 済 効 果	206億4500万円	220億0450万円

観客数、参加チーム数、参加者数の推移

	第1回 (4年度)	第2回 (5年度)	第3回 (6年度)	第4回 (7年度)	第5回 (8年度)	第6回 (9年度)	第7回 (10年度)	第8回 (11年度)	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)
参加チーム数	10	26	25	48	108	183	280	333	375	408	344	330	333
参加者 (百人)	10	25	30	48	100	180	290	340	380	410	440	440	430
観客数 (万人)	20	44	58	76	107	138	180	194	183	201	151	202	208



(3) さっぽろ夏まつり

昭和29年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、この祭りは毎年7・8月に1ヵ月間連続して開催され、大通会場をはじめ狸・すすきの・かっぱの3祭りとは各団体、各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。祭りの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。



後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

また、14年度から、新規行事である「ザ・パレード～大群舞・仮装コンクール」を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

第50回さっぽろ夏まつりの開催概要

期 間

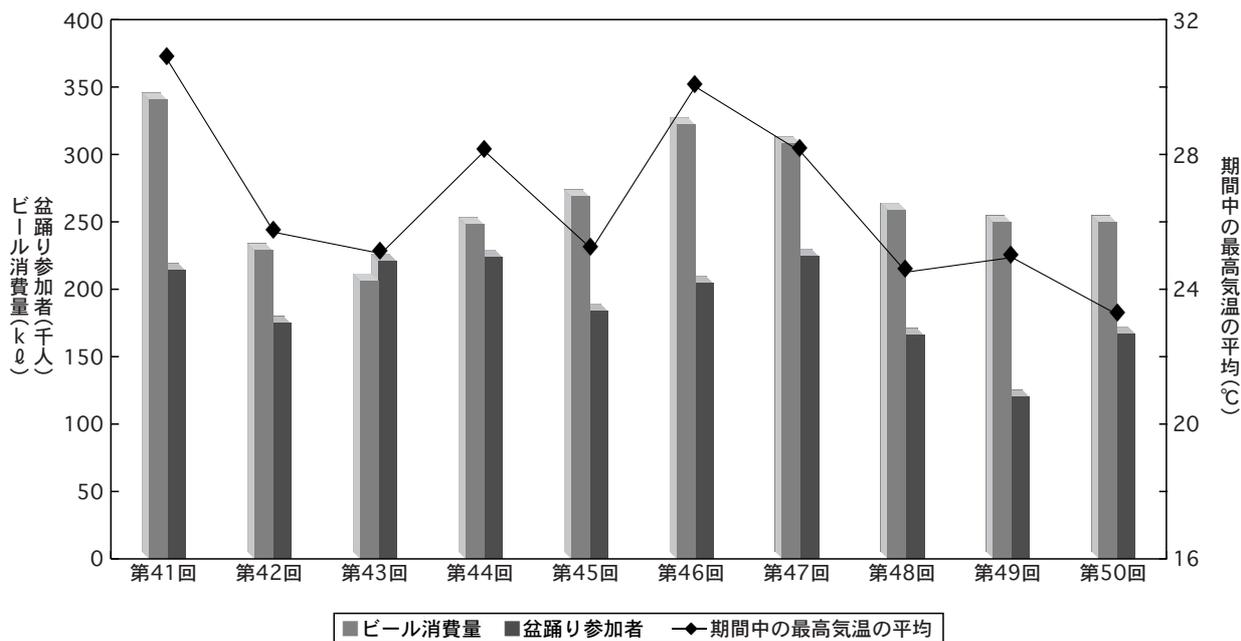
平成15年7月22日(火)～8月20日(水)〔30日間〕

行事等

	行事・会場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西2、3、5～8、10、11丁目)	7月22日～8月11日
	北海盆踊り大会(西8丁目)	8月14日～20日
	「ザ・パレード」(西5～8丁目路上)	8月16日
	さっぽろバザール(西7丁目)	8月14日～20日
	さっぽろ夏まつり50回記念事業 (記念誌制作、パネル展等)	
狸 小 路	第50回狸まつり	7月22日～8月20日
すすきの	第39回すすきの祭り	8月7日～9日
定 山 溪	第39回定山溪かっぱまつり	8月2・3日

ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去10年）

	第41回 (平成6年)	第42回 (平成7年)	第43回 (平成8年)	第44回 (平成9年)	第45回 (平成10年)	第46回 (平成11年)	第47回 (平成12年)	第48回 (平成13年)	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)
ビール消費量(kℓ)	347	233	212	255	276	328	314	266	256	256
盆踊り参加者(千人)	220	180	227	230	190	210	230	172	127	173
期間中の最高気温の平均()	30.9	25.8	24.9	28.1	25.3	30.3	28.1	24.5	25.1	23.3



(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和34年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで始まりました。翌、昭和35年には、札幌市の人口50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。毎年5月下旬の開花時期にあわせて開催される、「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和34年度に第1回が開かれてから、平成16年度で46回を迎えました。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

第45・46回さっぽろライラックまつりの開催概要

	第45回（平成15年度）	第46回（平成16年度）
期 間	平成15年5月23日(金)～25日(日)	平成16年5月21日(金)～23日(日)
会 場	大通公園西4～7丁目	
行 事 等	苗木プレゼント、錦鯉の放流式、ライラック写生コーナー、野だて、大道芸、市民音楽の広場、似顔絵コーナー、スタンプラリー、科学館がやってきた、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー 他	
観 客 数	303,500人	285,400人

(5) さっぽろ菊まつり

昭和30年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでバラバラであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和38年の第1回開催から4年を経た第5回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこの祭りは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催されています。「大輪3本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が4日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、8百点に達します。

また、14年度より、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり技術講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

2003さっぽろ菊まつりの開催概要

期 間	平成15年10月31日(金)~11月3日(祝)4日間
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会、菊オブジェ
観 客 数	140万人
出 展 数	864点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション
 昭和56年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西2丁目のみを会場に1,048個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

第23回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要

会 期	大通公園会場 [大通西1~8丁目]	平成15年11月21日(金)~ 平成16年1月4日(日) 45日間
	駅前通り会場 [北5条~南4条]	平成15年11月21日(金)~ 平成16年2月11日(水) 83日間
点灯時間	16:00~22:00(12月23、24、25、31日は24:00まで)	
総電球数	37万個	
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真コンテスト(応募作品数 263点) ・ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo 大通西2丁目 11月28日(金)~12月21日(日) ・カウントダウン 大通西2丁目 12月31日(水) 	

(7) スノーメモリアル雪だるまづくり

日本の普遍的な冬の遊びの原点である雪だるまづくりで、北海道中を埋め尽くそうと、冬の新しい“参加・体験型”イベント「スノーメモリアル雪だるまづくり」が平成13年から開催されました。初年度から約5,500個の雪だるまが観光客や市民によって制作され、第3回目の平成15年度には、第2回の12,000個には及ばなかったものの、その数は8,000個を超えました。現在その個数をギネスに申請しています(平成16年7月現在)。



第3回スノーメモリアル雪だるまづくりの開催概要

期 間	平成16年1月25日(日)~2月12日(木) 19日間
場 所	・宮の沢「白い恋人」サッカー場 ・北海道庁赤れんが前広場 ・札幌メディアパーク・スピカ スピカガーデン ・さっぽろ雪まつり真駒内会場 他札幌市内全域
制 作 数	8,350個

2 札幌でのコンベンション開催状況

表1 札幌での主なコンベンション開催見込み状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比	件 数	件 数	件 数
11年度	835	114.9	85	188	562
12年度	804	96.3	77	210	517
13年度	818	101.7	50	212	556
14年度	680	83.1	37	240	403
15年度	608	89.4	39	198	371

注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。
平成15年度分調査期間：2003年2月21日～2003年3月7日

表2 札幌コンベンションセンター利用状況(平成15年度)

表2 - 1 稼働率

(単位：日、%)

	利用日数	稼働率
大ホール	214	77.8
特別会議場	133	48.4
中ホール	199	72.4
小ホール	162	58.9
会議室(15室)	214	78.0

(注) 稼働率は、営業日数275日で計算。

表2 - 2 イベント別

(単位：件)

イベント種別	件数	
会議・研修	1,088	
総会・大会	59	
試験	54	
学会	医学系	27
	工学系	9
	理学系	7
	その他	5
	小 計	48
イベント	42	
芸術・文化イベント	12	
その他	75	
合 計	1,378	

表2 - 3 規模別

(単位：件)

規模	件数
100人以下	926
101～500人	322
501～1,000人	71
1,001～1,500人	20
1,501～2,000人	15
2,001～2,500人	9
2,501～3,000人	4
3,001～5,000人	6
5,001～10,000人	2
10,001人以上	2
合計	1,377
総来場者数	354,285人

平成15年度に開催された主な大規模コンベンション

1 第23回国際測地学・地球物理学連合（IUGG）総会

国際測地学・地球物理学連合は、1919年に設立された国際的、学際的、網羅的な非営利組織で、地球・惑星科学研究及びその国際的な発展の促進を目的とする国際学術団体です。IUGG総会は4年に1度開催されており、本第23回総会は、アジアで初の開催となりました。

日程：平成15年6月30日（月）から7月11日（金）の12日間

会場：札幌コンベンションセンター、札幌教育文化会館、北海道厚生年金会館、ホテルロイトン札幌、札幌メディアパーク・スピカ

参加者数：4,600人（うち、海外からの参加者2,500人）

2 北海道フォトコンベンション2003

北海道の豊かな風景や風土を地域資源として位置づけ、写真でその価値を訴求し観光振興に役立てることを目的として開催された同大会では、道内の自治体や観光協会、写真団体などによる北の大地ロケーション見本市（44ブース）や、学生や若手の写真家らが自分の作品を展示・販売する写真のフリーマーケット「ふおとま」など様々なイベントが開催されました。

日程：平成15年11月28日（金）から11月30日（日）の3日間

会場：札幌コンベンションセンター

入場者数：12,500人

表3 国際コンベンション開催状況の他都市との比較

（単位：件）

2001年			2002年		
順位	都 市	件数	順位	都 市	件数
1	東京（23区）	759	1	東京（23区）	793
2	大阪	230	2	京都	209
3	神戸	207	3	神戸	205
4	名古屋	194	4	大阪	192
5	京都	192	5	名古屋	167
6	福岡	147	6	福岡	150
7	千里地区	113	7	横浜	130
8	横浜	105	8	千里地区	119
9	札幌	96	9	つくば地区	80
10	つくば地区	88	10	札幌	71

（注）千里地区：豊中、茨木、吹田、高槻、箕面の5都市
つくば地区：土浦、つくばの2都市

（出典：国際観光振興機構（JNTO）コンベンション統計）

第5章 参考資料

1 観光施設等利用状況

表1 主な観光施設入場者数

(単位：人)

各年度中

施設名	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	前年度比 %
J Rタワー展望台 T38				117,700	725,095	616.1%
円山動物園	590,332	674,296	740,755	705,332	653,091	92.6%
大倉山ジャンプ競技場		732,713	678,791	650,293	618,692	95.1%
羊ヶ丘展望台	621,066	515,186	547,353	504,638	504,192	99.9%
藻岩山	632,953	525,975	606,727	534,019	495,005	92.7%
テレビ塔展望台	503,408	448,266	435,242	498,286	412,593	82.8%
北海道庁旧本庁舎	267,073	259,818	368,435	368,378	380,703	103.3%
札幌市青少年科学館	385,086	386,777	360,613	366,415	362,066	98.8%
サッポロさとらんど	364,200	347,800	359,160	457,100	345,220	75.5%
ISHIYA白い恋人パーク	163,182	177,400	191,152	207,836	243,663	117.2%
札幌市時計台	337,917	257,771	259,862	264,948	241,927	91.3%
北海道立近代美術館	371,945	169,409	401,385	435,285	240,506	55.3%
札幌芸術の森	231,282	265,066	285,099	321,278	238,386	74.2%
北海道開拓の村	271,911	228,096	218,840	217,574	218,929	100.6%
札幌市資料館	170,321	155,056	207,273	202,074	182,205	90.2%
札幌ウィンタースポーツミュージアム		134,561	129,259	129,963	132,662	102.1%
札幌ドーム(ドームツアー、展望台等利用者)			301,613	152,860	128,085	83.8%
サンピアザ水族館	128,434	120,696	113,317	119,062	114,910	96.5%
北海道開拓記念館	75,898	70,830	67,151	79,351	114,426	144.2%
サッポロビール博物館	176,166	158,035	142,268	121,674	111,842	91.9%
豊平峡	79,460	90,131	97,142	93,853	110,270	117.5%
北大附属植物園	96,037	85,879	83,533	77,815	76,719	98.6%
豊平川さけ科学館	92,191	91,311	96,489	83,377	73,196	87.8%
宮の森ジャンプ競技場	298,247	78,194	68,610	62,619	57,942	92.5%
札幌市下水道科学館	45,372	35,450	42,128	37,525	36,664	97.7%
北海道立文学館	25,989	24,085	26,177	38,203	29,381	76.9%
定山溪自然の村	21,604	21,527	19,417	25,366	28,121	110.9%
豊平館	23,596	19,573	26,386	24,422	22,431	91.8%
オートリゾート滝野	40,880	39,716	42,429	42,136	22,097	52.4%
雪印乳業史料館	114,489	63,228	74,644	39,631	20,161	50.9%
渡辺淳一文学館	13,394	11,966	13,567	14,734	15,676	106.4%
八窓庵		9,406	10,366	12,854	13,318	103.6%
札幌市アイヌ文化交流センター					10,133	
旧永山武四郎邸	12,509	9,088	10,701	11,266	8,929	79.3%
清華亭	12,043	9,162	10,208	8,917	8,794	98.6%
琴似屯田兵村兵屋跡	11,077	8,237	8,532	8,699	8,310	95.5%
札幌彫刻美術館	4,824	5,073	5,368	6,152	7,158	116.4%
旧黒岩家住宅	2,317	2,457	3,281	3,750	3,095	82.5%
札幌村郷土記念館	10,442	3,711	3,730	3,740	2,688	71.9%
新琴似屯田兵中隊本部	570	462	457	1,552	1,247	80.3%
北海道鉄道技術館	413	609	452	1,363	1,072	78.7%

表 - 2 主な集客施設観客数

(単位：人)

各年度中

施設名	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	前年度比 %
札幌コンサートホールKitara	322,706	333,747	322,325	340,997	355,241	104.2%
札幌ドーム			1,684,727	1,691,442	1,651,099	97.6%

表3 スキー場利用者数

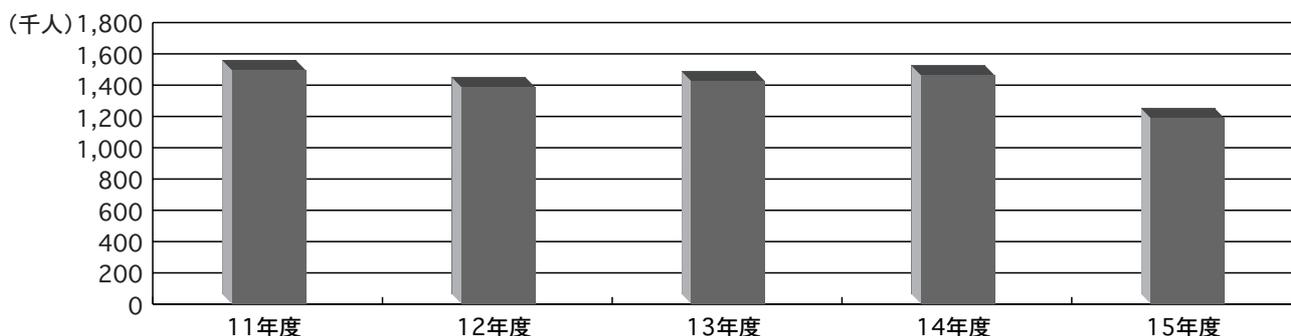
(単位：%)

各年度中

年 度	合 計	手稲山 オリン ピック	テイネ ハイ ランド	テイネ オリン ピア	コバ ワールド	ばん けい	藻岩山	真駒内	フッズ スノー エリア	小鳥 の村	定山溪 高原 札幌国際
人数(千人)											
11年度	1,563	46	220	306	91	225	221	83		4	367
12年度	1,461	44	222	279	82	208	198	84		1	343
13年度	1,476	33	208	274	84	192	213	80	30	1	361
14年度	1,524	51	202	263	79	191	156	78	144		360
15年度	1,290		161	254	65	170	120	108	126		286
前年度比(%)	84.6		79.7	96.6	82.3	89.0	76.9	138.5	87.5		79.4
リフト使用回数(千回)											
11年度	11,907	239	1,866	1,840	914	1,910	1,537	1,030		26	2,545
12年度	10,748	175	1,709	1,677	821	1,666	1,399	942		8	2,351
13年度	11,385	171	1,586	1,642	843	1,528	1,345	968	694	10	2,598
14年度	11,189	103	1,505	1,578	789	1,667	1,220	955	826		2,546
15年度	9,512		1,258	1,524	651	1,364	1,066	843	767		2,039
前年度比(%)	85.0		83.6	96.6	82.5	81.8	87.4	88.3	92.9		80.1
平成15年度 営業期間		平成14年度- 休止中	11/23 ~4/13	12/9 ~3/31	12/21 ~3/23	12/11 ~3/31	12/14 ~3/31	12/13 ~3/23	12/15 ~3/31	平成14年度- 休止中	11/9 ~5/5

注) 利用者数はスキー場により集計方法が異なり、推計によるものも含まれる。

図1 スキー場利用者数の推移



2 定期観光バス利用者数

表1 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

（単位：人）

各年度中

コース名	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	前年度比(%)	備考
さっぽろ散策バス	78,514	57,698	48,092	69,917	48,305	69.1	
春の札幌コース	596	657	573	632	377	59.7	
すずらんコース	16,244	13,128	13,604	12,977	9,818	75.7	
アカシアコース	3,984	2,819	3,325	2,419			平成14年10月廃止
ハマナスコース 注2)					4,667		
ライラックコース 注3)					4,352		
札幌おもしろ名所めぐり	4,559	4,367	3,609	3,282			平成14年10月廃止
みどころ札幌コース 注4)					2,695		
札幌一日コース	5,682	3,994	3,899	3,747	3,703	98.8	
夜の札幌コース	4,910	3,824	3,697	3,949	2,888	73.1	
ポプラコース			3,075	2,596			平成14年10月廃止
初冬の札幌コース	1,062	1,044	827	796	560	70.4	
冬の札幌コース	2,666	2,700	2,620	2,366	2,360	99.7	
白い恋人コース	6,822	7,320	6,835	6,194	4,696	75.8	
冬の大通公園展望と生ラムジンギスカン 食べ放題 注1)				263			平成15年2月廃止
かに会席料理と地酒試飲コース 注4)					438		
さっぽろファンタジックナイト	487	440	447	167	169	101.2	
合計	125,526	97,991	90,603	109,305	85,028	77.8	

注1) 平成15年1月より運行

注2) 平成15年4月より運行

注3) 平成15年4月より運行

注4) 平成15年12月より運行

3 札幌発着航空路線

(1) 国内線

平成16年7月1日現在

発着空港	路 線		航空会社		
	地 方	都道府県 空 港			
新 千 歳	北 海 道	(宗 谷 支 庁)	稚 利 内 尻 別	A N A A N A	
		(網 走 支 庁)	女 満 別	J A L A N A	
		(根 室 支 庁)	中 標 津	A N A	
		(釧 路 支 庁)	釧 路	H A C	
	東 北	青 森 県	青 森	J A L J A L	
			三 沢	J A L	
		岩 手 県	花 巻	J A L	
			宮 城 県	仙 台	J A L A N A J E X
		秋 田 県	秋 田	J A L	
			山 形 県	山 形	J A I R A N A
		福 島 県	福 島	A N A	
			千 葉 県	成 田	J A L F R I
	東 京 都	羽 田	J A L A N A A D O		
		新 潟 県	新 潟	J A L A N A	
	中 部	富 山 県	富 山	A N A	
			小 松	A N A	
		長 野 県	松 本	J A L	
			愛 知 県	名 古 屋	J A L A N A
	近 畿	大 阪 府	伊 丹	J A L A N A J A I R	
			関 西	J A L A N A	
	中 国	島 根 県	出 雲	J A L	
			岡 山 県	A N A	
		広 島 県	広 島	J A L A N A	
	四 国	徳 島 県	徳 島	J A L	
			香 川 県	A N A	
		愛 媛 県	松 山	A N A	
	九 州	福 岡 県	福 岡	J A L A N A	
			鹿 児 島 県	鹿 児 島	A N A
	丘 珠	北 海 道	(渡 島 支 庁)	函 館	A N A H A C
			(稚 内 支 庁)	稚 内	A N A
			(根 室 支 庁)	中 標 津	A N A
			(釧 路 支 庁)	釧 路	A N A H A C
(網 走 支 庁)			女 満 別	A N A	

注) 航空会社欄のJALは日本航空、ANAは全日本空輸、HACは北海道エアシステム、ADOは北海道国際航空、JEXはJALエクスプレス、JAIRはジェイエアを示す。

(2) 国際線

(単位：人)

平成16年7月1日現在

発着空港	路線	航空会社	便数	
新千歳	ソウル	大韓航空	週5	便
	グアム	コンチネンタル航空	週2	便
	香港	キャセイパシフィック航空	週4	便
	瀋陽	中国南方航空	週2	便
	ユジノサハリンスク	サハリオン航空	週2	便
	上海	中国東方航空	週2	便
	台北	エバー航空	週3	便

4 気象概況

札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計したものである。

年 度	気温()			日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 ²⁾	8.5	-	-	1774.8	1127.6	496	7.6	45.6	129.8	48.4
平成8年度										
9年度	8.7	32.6	-15.8	1656.3	1046.5	109	13	47	113	48
10年度	8.8	31.5	-13.5	1582.8	1199.5	621	1	42	131	62
11年度	9.4	35.2	-14.7	1677.9	1113.5	638	15	52	91	43
12年度	8.6	36.0	-15.0	1594.2	1338.5	497	10	66	128	63
13年度	9.2	29.3	-11.7	1710.7	1162.5	417	0	54	116	45
14年度	8.5	30.6	-14.8	1695.9	1074.0	465	2	35	131	61
15年度	9.1	29.1	-11.0	1741.7	1027.5	386	0	35	118	30
平成15年4月	8.2	21.0	-1.8	154.5	61.0	-	-	-	2	-
5月	12.9	26.8	2.2	224.7	31.0	-	-	1	-	-
6月	17.1	27.7	7.2	219.0	68.5	-	-	7	-	-
7月	17.7	26.2	12.3	185.9	29.0	-	-	5	-	-
8月	20.7	29.1	14.2	151.0	90.5	-	-	16	-	-
9月	17.5	27.9	8.5	147.3	110.5	-	-	5	-	-
10月	11.6	21.2	3.7	136.5	149.5	-	-	1	-	-
11月	6.2	22.4	-4.4	105.6	64.0	2.0	-	-	9	-
12月	0.0	7.4	-6.9	84.4	83.5	67.0	-	-	28	5
平成16年1月	-2.5	4.5	-11.0	86.8	139.0	156.0	-	-	31	11
2月	-1.3	5.7	-9.2	106.5	158.5	131.0	-	-	25	8
3月	0.7	13.7	-10.2	139.5	42.5	30.0	-	-	23	6

1) 真夏日とは最高気温が30.0 以上の日、夏日とは最高気温が25.0 以上の日、冬日とは最低気温が0.0 未満の日、真冬日とは最高気温が0.0 未満の日をいう。

2) 1971年から2000年までの平均値。

5 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正11(1922)年	市制施行。
昭和2(1927)年	公会堂として豊平館新館完成。
6(1931)年	大倉山シャンツェ竣工。
11(1936)年	札幌観光協会設立。
12(1937)年	札幌 - 東京間定期航空開始。
21(1946)年	定山溪観光協会設立。
25(1950)年	第1回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年	円山動物園開園。
28(1953)年	札幌 - 千歳間(国道36号線)弾丸道路舗装完成。
29(1954)年	第1回狸まつり、さっぽろ夏まつり開催。
32(1957)年	豊平館、中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33(1958)年	藻岩山観光自動車道、もいわ山ロープウェイ営業開始。
34(1959)年	第1回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35(1960)年	市民の投票により札幌の花(スズラン)、木(ライラック)、鳥(カッコウ)を決定。
38(1963)年	第1回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年	第1回定山溪かっぱ祭り開催。第1回すすきの祭り開催。
45(1970)年	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年	北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52(1977)年	「札幌の観光(観光白書)」発行開始。
53(1978)年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54(1979)年	緑のセンター開設。25年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55(1980)年	瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年	青少年科学館オープン。第1回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年	第1回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61(1986)年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第1回アジア冬季競技大会。86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年	第1回さっぽろ国際フェスティバル開催。

平成元(1989)年	定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2(1990)年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)初開催。「観光基本計画」策定。
3(1991)年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20体設置。第1回定山溪もみじ大茶会開催。
4(1992)年	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年	大通公園(8-9丁目)連続化実現。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップ・フェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年	札幌ドーム「Hiroba」オープン
14(2002)年	2002 FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)、ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo開催。札幌駅南口にJRタワーオープン。
15(2003)年	札幌コンベンションセンターオープン。

6 平成16年度のイベントカレンダー

日程・イベント名等は予定です。変更の可能性があります。ご注意ください。

	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先(市外局番011)
5月	ほっかいどう世界の蘭展	5月1日(土) ～5月6日(木)	3,000種、25,000株の蘭が集まる北海道初のイベントです。販売もあります。	アクセスサッポロ	ほっかいどう世界の蘭展2004事務局 232-5826
	溪流鯉のぼり	4月12日(月) ～5月9日(日)	定山溪の溪流に400以上の鯉のぼりを掲揚する、定山溪温泉の春の風物詩。	定山溪スポーツ公園ほか	定山溪温泉旅館組合 598-2537
	第46回ライラックまつり	5月21日(金) ～23日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園	実行委員会 211-2376
6月	第13回YOSAKOIソーラン祭り	6月9日(水) ～13日(日)	自由で独創的な激しいリズムによって今年は333チーム約4万3千人が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(月) ～16日(水)	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭りです。「郷土の日」を実感する、通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 611-0261
	花フェスタ札幌2004	6月26日(土) ～7月4日(日)	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 219-3987
7月	PMF(パンフィック・ミュージック・フェスティバル2004)	7月10日(土) ～8月1日(日) 8/3 大阪公演 8/4 東京公演	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際音楽祭。	芸術の森ほか	組織委員会 242-2211
	第17回さっぽろ旭山音楽祭	7月23日(金)	花火をバックに、札幌を一望する旭山記念公園のステージで700人の大合唱を鑑賞する野外音楽祭。	旭山記念公園	旭山うた祭りの会 561-9693
	第30回豊平川イカダ下り	7月11日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を流れる。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川南大橋上流	北海道新聞社事務局 210-5732
	第51回さっぽろ夏まつり	7月21日(水) ～8月20日(金) 7/21～8/10 納涼ガーデン 8/14～20 北海盆踊り 8/20 大群舞・仮装パレード	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデン、大群舞、仮装大会など、様々なイベント等で夏を楽しみます。	大通公園	実行委員会 211-2376
	第51回狸まつり	7月21日(水) ～8月20日(金)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合 241-5125
	カルチャーナイト2004	7月23日(金)	普段は夕方まで閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行う。普段はできない貴重な文化体験ができます。	大倉山ジャンプ競技場他41施設	実行委員会 261-8633
	赤れんがフェスタ	7月23日(金) ～8月1日(日)	歴史ある旧本庁舎前で、花や音楽などをテーマにさまざまな催し物が繰り広げられる。当時の騎馬隊が見れる日もあります。	北海道庁旧本庁舎・前庭	赤れんがフェスタ実行委員会NPO北海道花ネットワーク 281-8739
	豊平川花火大会	7月16日(金)・23日(金)・30日(金)	7月16日(金)道新・UHB花火大会 7月23日(金)読売新聞花火大会 7月30日(金)朝日新聞・HTB花火大会	豊平川南大橋付近	北海道新聞社、読売新聞社、朝日新聞社 道新210-5732 読売242-5630 朝日281-2131
8月	第40回定山溪かっぱ祭り	8月5日(木)・6日(金)	よさこいかっぱソーラン、湯けむり太鼓など、湯の街あげてのお祭り。宿泊客や見学の方も飛び入りで踊ることもできます。	定山溪温泉街	定山溪観光協会 598-2012
	第40回すすきの祭り	8月5日(木)～7日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのの一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005

8月	灯籠流し	8月15日(日)	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺	511-7634
	石山緑地芸術祭	8月21日(土)~29日(日)	石山軟石採掘跡を利用した、幻想的な公園「石山緑地」をステージに、新能や創作舞踊、YOSAKOIなどが繰り広げられる。公園の独特な雰囲気と、舞踊の幻想は一見の価値があります。	石山緑地	石山緑地芸術祭運営委員会	832-4444
	2004北海道マラソン	8月29日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約3,000人がフィニッシュ地点の中島公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみるすることができます。	真駒内屋外競技場スタート、中島公園フィニッシュ	北海道新聞社	232-0840
9月	第4回だいどんでん	9月4日(土)5日(日)	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通(歩行者天国)	青少年センター	671-4111
	リンケージ・アップ フェスティバル 2004	9月4日(土)5日(日)	全道各地の特産品、郷土芸能を一堂に集め、味覚を楽しみ、交流を深めます。旬の食材は大人気で、大通公園が巨大市場となります。	大通公園(5丁目~8丁目)	実行委員会	211-2192
	フードランド北海道2004	9月10日(金)~10月11日(祝)	全道各地の観光・物産PR、体験イベントを開催。北海道産食材を使ったオリジナル料理が、大通公園、ホテル等で味わえます。	大通公園(5丁目~8丁目)ほか	実行委員会	231-1122
	第23回時計台まつり(第4回 音楽フェスティバル)	9月14日(火)	市内小・中・高校の吹奏楽演奏、他予定。	札幌市民会館 大ホール	時計台まつり実行委員会	251-5944
	アシリチェップノミ(新しい鮭を迎える儀式)	9月20日(月)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎いの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活した。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷(南7条西1丁目)	札幌アイヌ文化協会	FAX 682-8993
	簾舞通行屋まつり	9月26日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)保存会	596-2825
10月	第29回札幌マラソン大会	10月3日(日)	小学生の2kmから大人の21kmまで幅広く参加できる市民マラソン大会。	真駒内屋外競技場スタート	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第14回定山溪もみじ大茶会	10月11日(祝)	定山溪温泉内の6会場(ホテル)で、本格的なお茶会が開かれます。	定山溪温泉	定山溪観光協会	598-2012
	2004さっぽろ菊まつり	10月31日(日)~11月3日(祝)	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が地下街に大々的に展示されます。	札幌地下街	実行委員会	211-2376
11月	第24回さっぽろホワイトイルミネーション	大通 11月19日(金)~17年1月4日(火) 駅前 11月19日(金)~2月13日(日)	メインオブジェ、立木装飾など、37万個を超える電球が、札幌駅前通、大通公園を鮮やかに彩ります。	大通公園・札幌駅前通	札幌観光協会	211-3341
	ミュンヘン・クリスマス市	11月20日(土)~12月14日(火)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーセージなど特産品が味わえます。	大通公園2丁目	(財)札幌国際プラザ経済促進部	211-3677
1月	第4回さっぽろスノーメモリアルチャレンジ・ザ・ギネス雪だるまづくり2005	17年1月下旬~2月中旬	市民や観光客が、小さな雪だるまを市内各地でたくさんつくりあげ、その数でギネスに挑戦します。誰でも参加できます。	市内各所	実行委員会	271-7090
2月	第56回さっぽろ雪まつり	17年2月7日(月)~13日(日)	いまや、世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。300基を超える雪氷像が、大通公園や、真駒内、すすきのの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・真駒内・すすきの	実行委員会	211-2376

本書は、ホームページ「札幌の観光行政（<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>）」で、公開されています。

平成16年度版 札幌の観光 平成16年9月発行	市政等資料番号	01-K04-04-387
	広報印刷番号	16-1-23
	関係部局保存期間	1年

編集・発行 札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL (011) 211 - 2376



この冊子は再生紙を使用しています。

さっぽろ市